

TOSHIBA

東芝デジタル複合機

TopAccessガイド

e-STUDIO2329A

- このたびは弊社製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
- お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書は、Webベースの管理ユーティリティであるTopAccessから行うデバイスのリモートセットアップやリモート管理を説明しています。

これらの機能を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、これらの機能を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

■ 本書の読みかた

□ 本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

⚠ 警告 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷^{*1}を負う可能性があること」を示しています。

⚠ 注意 「誤った取り扱いをすると人が傷害^{*2}を負う可能性、または物的損害^{*3}のみが発生する可能性があること」を示しています。

注意 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

補足 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。

 関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかる拡大損害を指します。

□ オプション機器について

使用可能なオプション機器は、お使いの機種のユーザーガイド「本機のオプション構成」をご覧ください。

□ 本文中の初期値について

- 本書に記載している初期値は、標準的な使用環境の値です。導入時の環境に合わせて、初期値を変更している場合があります。
- 選択項目の初期値は、下線で表記しています。

□ 商標について

商標については安全にお使いいただくためにをご覧ください。

目次

はじめに.....	3
-----------	---

第1章 概要

TopAccessの機能	8
TopAccessの条件	9
サポートブラウザー	9
TopAccessを起動する	10
アドレスを入力して起動する	10
TopAccessの画面説明	11

第2章 【装置】タブ

【装置】項目説明一覧	14
------------------	----

第3章 【登録】タブ

ログイン	16
【Eメール】項目説明一覧	17
[Eメール] 画面	17
[個人のプロパティ] 画面	18
[グループ情報] 画面	19
【電話帳】項目説明一覧	20
[電話帳] 画面	20
[短縮ダイヤルのプロパティ] 画面	22
[ワンタッチ番号のプロパティ] 画面	23
[グループ情報] 画面	24
【部門管理】項目説明一覧	25
[部門管理] 画面	25

第4章 【カウンター】タブ

【トータルカウンター】項目説明一覧	28
プリントカウンター/スキャンカウンター/スキャンカウンター（スマート）/スキャンカウンター（ラージ）	28

第5章 【管理者】タブ

ログイン	30
【セットアップ】項目説明一覧	31
一般設定	31
ネットワーク設定	35
コピー設定	50
ファックス設定	51
共有フォルダーに保管設定	53
Eメール設定	54
プリンター設定	55
プリントサービス設定	57
バージョン情報	58
【保守】項目説明一覧	59
レポート通知	59

インポート	60
エクスポート	63
【登録】項目説明一覧	64
テンプレート	64
ファクス受信転送	73
索引	79

1

概要

このセクションでは、TopAccess機能の概要について説明します。

TopAccessの機能	8
TopAccessの条件	9
サポートブラウザー	9
TopAccessを起動する	10
アドレスを入力して起動する	10
TopAccessの画面説明	11

TopAccessの機能

TopAccessは、Webブラウザーを利用して、本機の装置情報やジョブのステータスなどの確認、装置設定やメンテナンスが行える管理ユーティリティです。

以下の操作を行うことができます。

- 本機の一般情報を表示する（ステータス、カセットやオプション機器の構成、給紙情報など）
- 印刷ジョブ、ファクスジョブ、スキャンジョブを表示する
- Eメールやファクス送信で使用する連絡先やグループを追加・編集する
- カウンターログを表示する

 P.10 「TopAccessを起動する」

TopAccessの条件

TopAccessを操作するには、お使いの機器がネットワークに接続され、TCP/IPが正しく設定されている必要があります。

TCP/IP設定を完了すると、Webブラウザーを利用してTopAccessにアクセスすることができます。

■ サポートブラウザー

Windows

- Microsoft Edge 89以上
- Firefox 86以上
- Google Chrome 89以上

Macintosh

- Safari 14以上

UNIX

- Firefox 86以上

注意

- TopAccessでは、コンピューターに情報を保存するのにCookieを使用するので、TopAccessを正しく動作させるためにはお使いのブラウザーでCookieを使用できるように設定されている必要があります。
- TopAccessが正しく動作しないときには、Cookieを削除して試してみてください。

TopAccessを起動する

TopAccessは、WebブラウザーのURLにアドレスを入力することにより起動できます。

■ P.10 「アドレスを入力して起動する」

■ アドレスを入力して起動する

1 Webブラウザーを起動し、URLに以下のアドレスを入力します。

http://<IPアドレス>または、http://<デバイス名>

 http://10.10.70.120//

例：

お使いの機器のIPアドレス（IPv4）が「10.10.70.120」のとき

http://10.10.70.120

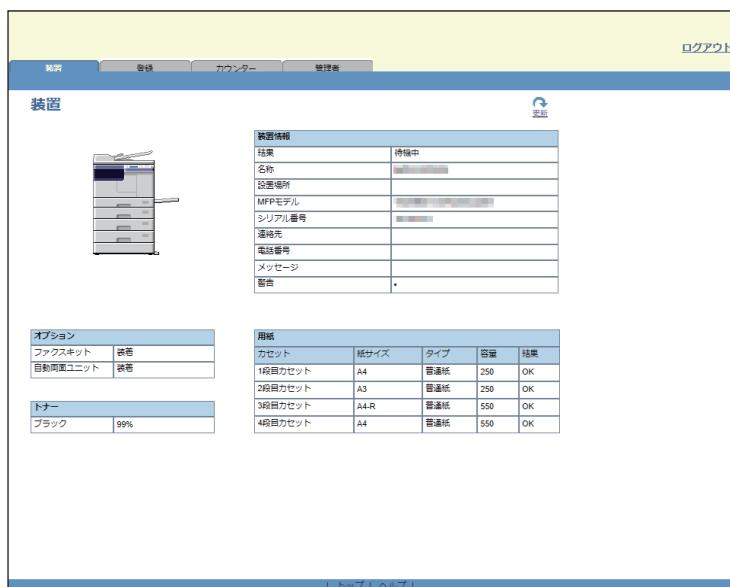
お使いの機器のIPアドレス（IPv6）が「3ffe:1:1:10:280:91ff:fe4c:4f54」のとき

3ffe-1-1-10-280-91ff-fe4c-4f54.ipv6-literal.net

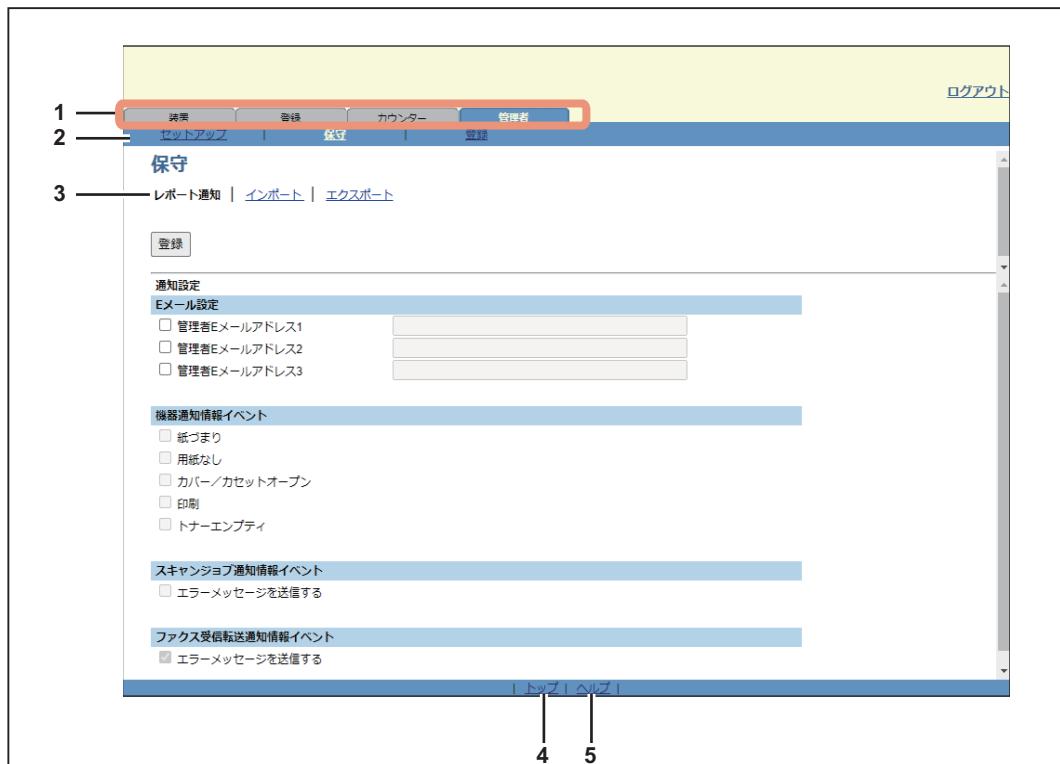
または

http://[3ffe:1:1:10:280:91ff:fe4c:4f54]

2 TopAccessのWebページが表示されます。



TopAccessの画面説明



項目名	機能説明
1 機能タブ	各タブは機能ごとにまとめられています。タブをクリックすると、該当する機能のメインページが表示されます。
2 メニューバー	選択した機能タブの各メニューへアクセスします。
3 サブメニューバー	選択した機能タブやメニューの各サブメニューへアクセスします。
4 トップ	このリンクをクリックすると、表示しているページの先頭へ戻ります。
5 ヘルプ	このリンクをクリックすると、ヘルプを開きます。
注意 ヘルプを使用するには、本機にヘルプファイルを登録する必要があります。 P.60 「インポート」	

2

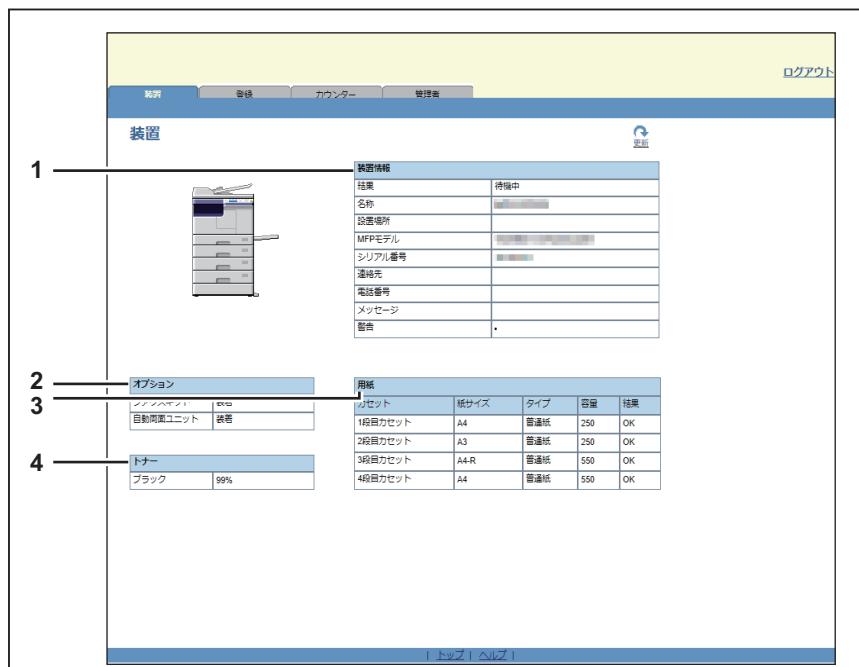
【装置】 タブ

このセクションでは、【装置】 タブについて説明します。

【装置】 項目説明一覧 14

【装置】項目説明一覧

ユーザー用の【装置】タブが表示され、装置の状態を示すイメージが表示されます。[更新] をクリックすると、ページ上の情報が更新され、表示されます。
このタブページには、装置に関する以下の情報が表示されます。



項目名	機能説明
1 装置情報	<ul style="list-style-type: none">結果：本機の状態を表示します。名称：本機の名称を表示します。設置場所：本機の設置場所を表示します。MFPモデル：本機のモデル名を表示します。シリアル番号：本機のシリアル番号を表示します。連絡先：本機を管理する担当者の氏名を表示します。電話番号：本機を管理する担当者の電話番号を表示します。メッセージ：管理者メッセージを表示します。警告：警告メッセージを表示します。
2 オプション	<ul style="list-style-type: none">ファクスキット：ファクスユニットの装着状態を表示します。自動両面ユニット：自動両面ユニットの装着状態を表示します。
3 用紙	<ul style="list-style-type: none">カセット：装着されているカセットを一覧表示します。紙サイズ：各カセットにセットされている用紙のサイズを表示します。タイプ：各カセットにセットされている用紙の種類を表示します。容量：各カセットにセットできる最大の用紙枚数を表示します。結果：各カセットの用紙の有無を表示します。
4 トナー	<p>注意</p> <p>用紙カセットの用紙サイズの設定は、TopAccessから行うことはできません。本機操作パネルより行ってください。設定方法については、ユーザーガイドを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none">ブラック：トナーの残量が表示されます。

3

【登録】タブ

このセクションでは、Eメールやファクス送信で使用する連絡先の登録方法および部門管理の設定方法について説明します。

ログイン	16
【Eメール】項目説明一覧	17
[Eメール] 画面	17
[個人のプロパティ] 画面	18
[グループ情報] 画面	19
【電話帳】項目説明一覧	20
[電話帳] 画面	20
[短縮ダイヤルのプロパティ] 画面	22
[ワンタッチ番号のプロパティ] 画面	23
[グループ情報] 画面	24
【部門管理】項目説明一覧	25
[部門管理] 画面	25

ログイン

【登録】タブの項目を表示／操作するには、ログインする必要があります。

項目名	機能説明
1 [ログイン] ボタン	パスワード入力後にこのボタンをクリックします。正しいパスワードが入力されると、【登録】タブの内容が表示されます。
2 ユーザー名	「管理者 (Admin)」または「作業者 (Operator)」から選択します。
3 パスワード	ユーザー名に「管理者 (Admin)」を選択した場合は、管理者パスワードを入力してください。最初にログインするときは、「123456」を入力してください。パスワードは伏せ字で表示されます。 ユーザー名に「作業者 (Operator)」を選択した場合は、作業者パスワードは管理者に確認して入力してください。パスワードは伏せ字で表示されます。

注意

- お使いの機種や地域によっては、初回ログイン時に初期管理者パスワードを変更する必要があります。画面の指示に従ってください。
- ユーザー名に「作業者 (Operator)」を選択した場合、部門管理項目は登録できません。
- ログイン時にパスワードを間違えて入力し、「有効なパスワードを入力してください」と表示された場合は、管理者にお問い合わせください。
- ログインできるのは、一度に1ユーザーのみです。管理者 (Admin) と作業者 (Operator) の同時ログインもできません。
- ログイン後、【セッション確保時間】で設定されている時間が経過した場合、自動的にログアウトします。セッション確保時間設定の詳細については、以下の説明を参照してください。

■ P.33 「WEB設定」

補足

各ページ右上の【ログアウト】リンクをクリックすると、ログアウトすることができます。【ログアウト】をクリックせず、ブラウザの【x】(閉じる) ボタンをクリックしてTopAccessを終了すると、操作パネルのLCD画面には「お待ち下さい PCから操作中です」と表示されたまま操作できず、ログインもできない状態になります。この状態は、本機の電源をオフ／オンするか、【セッション確保時間】で設定した時間（初期値=10分）が経過するまで待たないと、解除されません。セッション確保時間設定の詳細については、以下の説明を参照してください。

■ P.33 「WEB設定」

【Eメール】項目説明一覧

- P.17 「[Eメール] 画面」
- P.18 「[個人のプロパティ] 画面」
- P.19 「[グループ情報] 画面」

■ [Eメール] 画面

Eメール送信を実行する際に指定する、連絡先リストを管理できます。

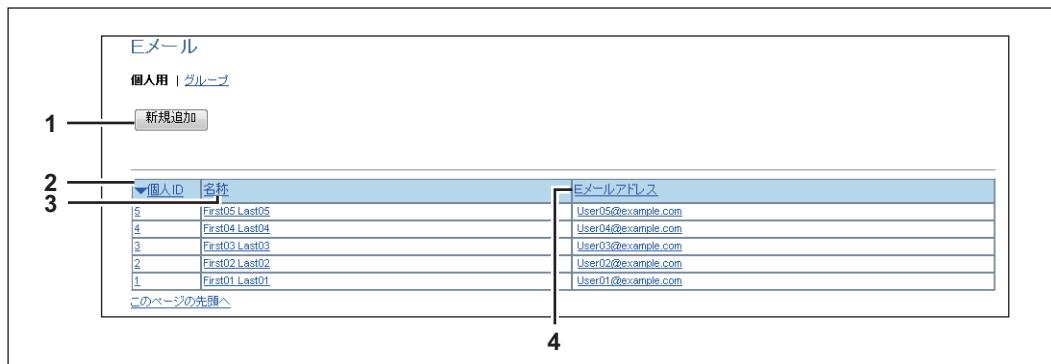
3

[登録] タブ

補足

- 「個人用」 / 「グループ」をクリックすることで、アドレス一覧と、複数の連絡先を割り当てたグループ一覧を切り替えて表示することができます。
- Eメールの管理は、本機の操作パネルから行うこともできます。操作パネルからEメールを管理する方法については、ユーザーガイドを参照してください。

□ 個人用



項目名	機能説明
1 [新規追加] ボタン	Eメールに新しい連絡先を追加します。クリックすると、[個人のプロパティ] 画面が開きます。 □ P.18 「[個人のプロパティ] 画面」
2 個人ID	連絡先の登録ID番号を表示します。IDを編集するには、クリックして [個人のプロパティ] 画面を開きます。 □ P.18 「[個人のプロパティ] 画面」
3 名称	連絡先に登録されている名称を表示します。名称を編集するには、クリックして [個人のプロパティ] 画面を開きます。 □ P.18 「[個人のプロパティ] 画面」
4 Eメールアドレス	連絡先に登録されているEメールアドレスを表示します。Eメールアドレスを編集するには、クリックして [個人のプロパティ] 画面を開きます。 □ P.18 「[個人のプロパティ] 画面」

補足

該当する表見出しをクリックすると、ページが更新され、指定した順序で一覧を並べ替えることができます。

□ グループ

項目名	機能説明
1 [新規] ボタン	新しいグループを追加します。クリックすると、[グループ情報] 画面が開きます。 ☞ P.19 「[グループ情報] 画面」
2 グループ番号	グループの登録番号を表示します。番号を編集するには、クリックして [グループ情報] 画面を開きます。 ☞ P.19 「[グループ情報] 画面」
3 グループ名称	登録されているグループ名称を表示します。名称を編集するには、クリックして [グループ情報] 画面を開きます。 ☞ P.19 「[グループ情報] 画面」
4 アドレス帳	グループに登録されているアドレス帳の件数を表示します。

補足

該当する表見出しをクリックすると、ページが更新され、指定した順序で一覧を並べ替えることができます。

■ [個人のプロパティ] 画面

項目名	機能説明
1 [登録] ボタン	入力した情報を登録します。
2 [キャンセル] ボタン	連絡先の追加や編集を中止します。
3 [リセット] ボタン	各ボックスに入力した情報を消去します。
4 [削除] ボタン	表示している連絡先を削除します。
5 個人ID	個人IDが自動的に割り当てられます。1~200の範囲で値を編集します。
6 名称	連絡先の名称を入力します。半角英数字、記号 (+ - . @ / _)、半角スペースと半角カタカナで20文字まで入力できます。
7 Eメールアドレス	連絡先のEメールアドレスを入力します。半角英数字、記号 (+ - . @ / _) と半角スペースで64文字まで入力できます。

■ [グループ情報] 画面

複数の連絡先を割り当てたグループを作成します。

グループ機能を使用すれば、Eメール送信を複数の連絡先へ実行する際に、それらの連絡先を個別に選択する手間を省くことができます。

	項目名	機能説明
1	[登録] ボタン	選択した連絡先をグループとして登録します。
2	[キャンセル] ボタン	グループ登録を中止します。
3	[リセット] ボタン	内容をリセットします。
4	[削除] ボタン	表示しているグループを削除します。
5	グループ番号	グループ番号が自動的に割り当てられます。1~20の範囲で値を編集します。
6	グループ名称	グループ名を入力します。半角英数字、記号 (+ - . @ / _)、半角スペースと半角カタカナで20文字まで入力できます。
7	選択	Eメールアドレスをグループ登録するときにチェックボックスを選択します。50件まで選択できます。
8	個人ID	個人IDを表示します。
9	名称	登録名称を表示します。
10	Eメールアドレス	連絡先に登録されているEメールアドレスを表示します。

【電話帳】項目説明一覧

- P.20 「[電話帳] 画面」
- P.22 「[短縮ダイヤルのプロパティ] 画面」
- P.23 「[ワンタッチ番号のプロパティ] 画面」
- P.24 「[グループ情報] 画面」

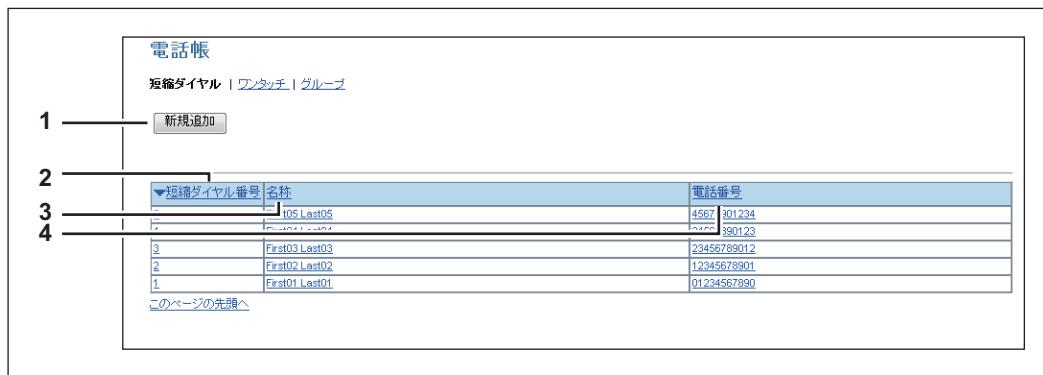
■ [電話帳] 画面

ファクス送信を実行する際に指定する、連絡先リストを管理できます。

補足

- ・「短縮ダイヤル」/「ワンタッチ」/「グループ」をクリックすることで、短縮ダイヤル一覧、ワンタッチ一覧、複数の連絡先を割り当てたグループ一覧を切り替えて表示することができます。
- ・電話帳の管理は、本機の操作パネルから行うこともできます。操作パネルから電話帳を管理する方法については、[ユーザーガイド](#)を参照してください。

□ 短縮ダイヤル



項目名	機能説明
1 [新規追加] ボタン	Eメールに新しい連絡先を追加します。クリックすると、[短縮ダイヤル情報] 画面が開きます。 □ P.22 「[短縮ダイヤルのプロパティ] 画面」
2 短縮ダイヤル番号	連絡先の登録短縮ダイヤル番号を表示します。番号を編集するには、クリックして [短縮ダイヤル情報] 画面を開きます。 □ P.22 「[短縮ダイヤルのプロパティ] 画面」
3 名称	連絡先に登録されている名称を表示します。名称を編集するには、クリックして [短縮ダイヤル情報] 画面を開きます。 □ P.22 「[短縮ダイヤルのプロパティ] 画面」
4 電話番号	連絡先に登録されている電話番号を表示します。電話番号を編集するには、クリックして [短縮ダイヤル情報] 画面を開きます。 □ P.22 「[短縮ダイヤルのプロパティ] 画面」

補足

該当する表見出しをクリックすると、ページが更新され、指定した順序で一覧を並べ替えることができます。

□ ワンタッチ

	項目名	機能説明
1	[新規追加] ボタン	Eメールに新しい連絡先を追加します。クリックすると、[ワンタッチ番号のプロパティ] 画面が開きます。 ☞ P.23 「[ワンタッチ番号のプロパティ] 画面」
2	ワンタッチダイヤル番号	連絡先の登録ワンタッチダイヤル番号を表示します。番号を編集するには、クリックして [ワンタッチ番号のプロパティ] 画面を開きます。 ☞ P.23 「[ワンタッチ番号のプロパティ] 画面」
3	名称	連絡先に登録されている名称を表示します。名称を編集するには、クリックして [ワンタッチ番号のプロパティ] 画面を開きます。 ☞ P.23 「[ワンタッチ番号のプロパティ] 画面」
4	電話番号	連絡先に登録されている電話番号を表示します。電話番号を編集するには、クリックして [ワンタッチ番号のプロパティ] 画面を開きます。 ☞ P.23 「[ワンタッチ番号のプロパティ] 画面」

補足

該当する表見出しをクリックすると、ページが更新され、指定した順序で一覧を並べ替えることができます。

□ グループ

	項目名	機能説明
1	[新規] ボタン	新しいグループを追加します。クリックすると、[グループ情報] 画面が開きます。 ☞ P.24 「[グループ情報] 画面」
2	グループ番号	グループの登録番号を表示します。番号を編集するには、クリックして [グループ情報] 画面を開きます。 ☞ P.24 「[グループ情報] 画面」

項目名		機能説明
3	グループ名称	登録されているグループ名称を表示します。名称を編集するには、クリックして [グループ情報] 画面を開きます。 P.24 「[グループ情報] 画面」
4	アドレス帳	グループに登録されているアドレス帳の件数を表示します。

補足

該当する表見出しをクリックすると、ページが更新され、指定した順序で一覧を並べ替えることができます。

■ [短縮ダイヤルのプロパティ] 画面

項目名		機能説明
1	[登録] ボタン	入力した情報を登録します。
2	[キャンセル] ボタン	連絡先の追加や編集を中止します。
3	[リセット] ボタン	各ボックスに入力した情報を消去します。
4	[削除] ボタン	表示している連絡先を削除します。
5	短縮番号	短縮番号が自動的に割り当てられます。1~200の範囲で値を編集します。
6	名称	連絡先の名称を入力します。半角英数字、記号 (+ - . @ / _)、半角スペースと半角カタカナで20文字まで入力できます。使用できない文字を入力した場合「！」で置き換えられます。
7	電話番号	連絡先の電話番号を入力します。数字と記号 (* # P) で50桁まで入力できます。Pは1桁目には使用できません。

■ [ワンタッチ番号のプロパティ] 画面

ワンタッチ番号のプロパティ ワンタッチ▶

1 登録 キャンセル リセット 削除

2

3

4

5 *必須入力 ワンタッチ番号

6 名称 First06 Last06

7 電話番号 56789012345

3

[登録] タブ

項目名	機能説明
1 [登録] ボタン	入力した情報を登録します。
2 [キャンセル] ボタン	連絡先の追加や編集を中止します。
3 [リセット] ボタン	各ボックスに入力した情報を消去します。
4 [削除] ボタン	表示している連絡先を削除します。
5 ワンタッチ番号	ワンタッチ番号が自動的に割り当てられます。1~5の範囲で値を編集します。
6 名称	連絡先の名称を入力します。半角英数字、記号 (+ - . @ / _)、半角スペースと半角カタカナで20文字まで入力できます。使用できない文字を入力した場合「！」で置き換えられます。
7 電話番号	連絡先の電話番号を入力します。数字と記号 (* # P) で50桁まで入力できます。Pは1桁目には使用できません。

■ [グループ情報] 画面

複数の連絡先を割り当てたグループを作成します。

グループ機能を使用すれば、ファクス送信を複数の連絡先へ実行する際に、それらの連絡先を個別に選択する手間を省くことができます。

選択	タイプ	番号	名称	電話番号
<input checked="" type="checkbox"/>	通常ダイヤル	5	Fir 05 Last05	456 8901234
<input checked="" type="checkbox"/>	ワンタッチ	5	Fir 10 Last10	901 3456789
<input checked="" type="checkbox"/>	短縮ダイヤル	4	Fir 04 Last04	345 7890123
<input checked="" type="checkbox"/>	通常ダイヤル	9	Fir 09 Last09	890 2345678
<input checked="" type="checkbox"/>	短縮ダイヤル	3	Fir 03 Last03	724 56789012
<input checked="" type="checkbox"/>	ワンタッチ	3	First08 Last08	78901234567
<input checked="" type="checkbox"/>	短縮ダイヤル	2	First02 Last02	12345678901
<input checked="" type="checkbox"/>	ワンタッチ	2	First07 Last07	67890123456
<input checked="" type="checkbox"/>	短縮ダイヤル	1	First01 Last01	01234567890
<input checked="" type="checkbox"/>	ワンタッチ	1	First06 Last06	56789012345

	項目名	機能説明
1	[登録] ボタン	選択した連絡先をグループとして登録します。
2	[キャンセル] ボタン	グループ登録を中止します。
3	[リセット] ボタン	内容をリセットします。
4	[削除] ボタン	表示しているグループを削除します。
5	グループ番号	グループ番号が自動的に割り当てられます。1~20の範囲で値を編集します。
6	グループ名称	グループ名を入力します。半角英数字、記号 (+ - . @ / _)、半角スペースと半角カタカナで20文字まで入力できます。
7	選択	電話番号をグループ登録するときにチェックボックスを選択します。50件まで選択できます。
8	タイプ	ダイヤルタイプ (短縮ダイヤルまたはワンタッチ) を表示します。
9	番号	登録番号を表示します。
10	名称	登録名称を表示します。
11	電話番号	連絡先に登録されている電話番号を表示します。

【部門管理】項目説明一覧

□ P.25 「[部門管理] 画面」

■ [部門管理] 画面

部門管理の設定ができます。

項目名	機能説明
1 [新規] ボタン	新しい部門を登録します。 □ P.25 「[部門管理] 画面」
2 [全部門のカウンタリーセット] ボタン	全部門のカウンターをリセットします。
3 [全部門削除] ボタン	登録されている部門を削除します。
4 番号	部門の登録番号を表示します。
5 部門名称	部門名を表示します。 部門名をクリックすると、部門管理情報を確認することができます。 □ P.26 「[部門情報] (編集) 画面」
6 部門コード	部門コードを表示します。
7 トータルプリント	部門のトータルプリント枚数を表示します。
8 トータルスキャン	部門のトータルスキャン枚数を表示します。
9 ファクス送信	部門のトータルファクス送信枚数を表示します。
10 ファクス受信	部門のトータルファクス受信枚数を表示します。

□ [部門情報] 画面

新しい部門を登録することができます。

	項目名	機能説明
1	[登録] ボタン	入力/設定した内容で部門情報を登録します。
2	[キャンセル] ボタン	部門情報の作成を中止します。
3	部門番号	部門の登録番号を表示します。
4	部門名称	部門名を入力します。 半角文字で20文字まで入力できます。
5	部門コード	5桁の数字を入力します。
注意		
すでに設定されている部門コードは使用できません。		

□ [部門情報] (編集) 画面

部門情報を確認/編集することができます。

	項目名	機能説明
1	[登録] ボタン	入力/設定した内容で部門情報を登録します。
2	[キャンセル] ボタン	部門情報の作成を中止します。
3	[カウンタリセット] ボタン	カウンターをリセットします。
4	[削除] ボタン	表示している部門を削除します。
5	部門番号	部門の登録番号を表示します。
6	部門名称	部門名を変更する場合は入力します。 半角文字で20文字まで入力できます。
7	部門コード	部門コードを変更する場合は、5桁の数字を入力します。
8	プリントカウンター	印刷された枚数を表示します。
9	スキャンカウンター	スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示します。
10	ファクス通信カウンター	通信記録を表示します。

4

【カウンター】タブ

このセクションでは、【カウンター】タブについて説明します。

【トータルカウンター】項目説明一覧.....	28
プリントカウンター /スキャンカウンター /スキャンカウンター（スマート）/スキャンカウンター（ラージ）.....	28

【トータルカウンター】項目説明一覧

■ プリントカウンター /スキャンカウンター /スキャンカウンター (スマート) /スキャンカウンター (ラージ)

印刷、コピーおよびスキャンしたページ数の記録を確認できます。

トータルカウンター						
1	プリントカウンター	コピー	ファックス	プリンター	リスト	合計
	スマート	25	6	104	18	153
	ラージ	4	6	60	0	70
	合計	29	12	164	18	223

スキャンカウンター				
2		コピー	ファックス	ネットワーク
	フルカラー	-	-	6
	ブラック	53	8	31
	合計	53	8	37
				98

スキャンカウンター(スマート)				
3		コピー	ファックス	ネットワーク
	フルカラー	-	-	2
	ブラック	51	5	31
	合計	51	5	33
				89

スキャンカウンター(ラージ)				
4		コピー	ファックス	ネットワーク
	フルカラー	-	-	4
	ブラック	2	3	0
	合計	2	3	4
				9

	カウンターの種類	説明
1	プリントカウンター	コピー操作、ファックス受信、印刷操作およびEメール受信、システムページ印刷の出力トータルカウント値を表示します。
2	スキャンカウンター	コピー操作、ファックス受信、スキャン操作でスキャンした原稿のトータルカウント値を表示します。
3	スキャンカウンター (スマート)	コピー操作、ファックス受信、スキャン操作でスキャンした原稿のトータルカウント値の詳細を、お使いの機器で設定されている用紙サイズに応じて表示します。
4	スキャンカウンター (ラージ)	

5

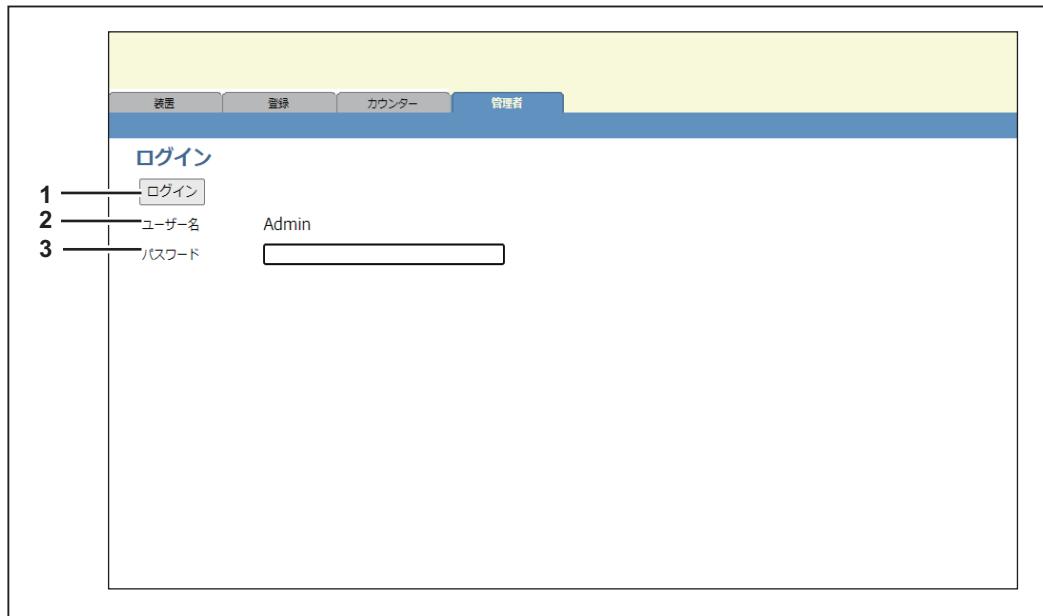
【管理者】 タブ

このセクションでは、機器の設定やネットワーク設定、保守操作を行うことができる管理者機能について説明します。

ログイン	30
【セットアップ】 項目説明一覧	31
一般設定	31
ネットワーク設定	35
コピー設定	50
ファクス設定	51
共有フォルダーに保管設定	53
Eメール設定	54
プリンター設定	55
プリントサービス設定	57
バージョン情報	58
【保守】 項目説明一覧	59
レポート通知	59
インポート	60
エクスポート	63
【登録】 項目説明一覧	64
テンプレート	64
ファクス受信転送	73

ログイン

【管理者】タブの項目を表示／操作するには、ログインする必要があります。



	項目名	機能説明
1	【ログイン】ボタン	パスワード入力後にこのボタンをクリックします。正しいパスワードが入力されると、【管理者】タブの内容が表示されます。
2	ユーザー名	ユーザー名は「Admin」です。
3	パスワード	管理者パスワードを入力します。パスワードは伏せ字で表示されます。最初にログインする場合は、「123456」を入力してください。

注意

- お使いの機種や地域によっては、初回ログイン時に初期管理者パスワードを変更する必要があります。画面の指示に従ってください。
- ログイン時にパスワードを間違えて入力し、「有効なパスワードを入力してください」と表示された場合は、管理者にお問い合わせください。
- 本機の動作中は、ログイン操作はできません。機体が動作していないときに再度ログインしてください。
- Admin としてログインできるのは、一度に1ユーザーのみです。
- ログイン後、【セッション確保時間】で設定されている時間が経過した場合、自動的にログアウトします。セッション確保時間設定の詳細については、以下の説明を参照してください。

P.33 「WEB設定」

補足

各ページ右上の【ログアウト】リンクをクリックすると、ログアウトすることができます。【ログアウト】をクリックせず、ブラウザーの【×】(閉じる)ボタンをクリックしてTopAccessを終了すると、操作パネルのLCD画面には「お待ち下さい PCから操作中です」と表示されたまま操作できず、ログインもできない状態になります。この状態は、本機の電源をオフ／オンするか、【セッション確保時間】で設定した時間(初期値=10分)が経過するまで待たないと、解除されません。セッション確保時間設定の詳細については、以下の説明を参照してください。

P.33 「WEB設定」

【セットアップ】項目説明一覧

- P.31 「一般設定」
- P.35 「ネットワーク設定」
- P.50 「コピー設定」
- P.51 「ファクス設定」
- P.53 「共有フォルダーに保管設定」
- P.54 「Eメール設定」
- P.55 「プリンター設定」
- P.57 「プリントサービス設定」
- P.58 「バージョン情報」

補足

「一般」/「ネットワーク」/「コピー」/「ファクス」/「共有フォルダーに保管」/「Eメール」/「プリンター」/「プリントサービス」/「バージョン」をクリックすることで、各設定を切り替えて表示することができます。



項目名	機能説明
1 [登録] ボタン	すべての内容を登録します。
2 [キャンセル] ボタン	確認ダイアログボックスが表示されます。[はい] を選択すると、変更前の内容に戻ります。

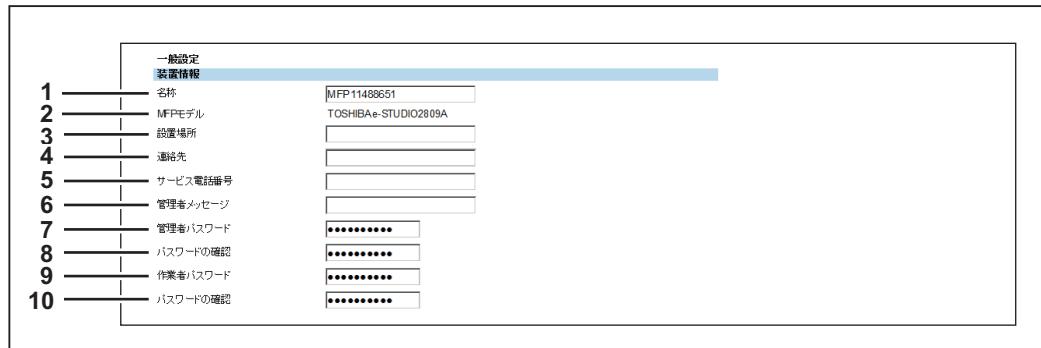
■ 一般設定

装置情報、節電、日付、時刻やWebの全般的な設定などの一般設定をセットアップすることができます。

- P.31 「装置情報」
- P.32 「節電モード設定」
- P.33 「日付と時間」
- P.33 「WEB設定」
- P.33 「部門管理設定」
- P.34 「管理者／作業者によるアドレス帳操作制限」
- P.34 「機密化設定」

□ 装置情報

[装置] タブページに表示される装置情報の内容を設定します。



項目名	機能説明
1 名称	お使いの機器の装置名を入力します。半角英数字、ハイフン (-) およびコロン (:) で15文字まで入力できます。
2 MFPモデル	お使いの機器のモデル名を表示します。
3 設置場所	お使いの機器の設置場所を入力します。64文字まで入力できます。この情報は、ユーザーがTopAccessを起動したときに開かれる【装置】タブページに表示されます。
4 連絡先	お使いの機器を管理する担当者の名前を入力します。64文字まで入力できます。この情報は、ユーザーがTopAccessを起動したときに開かれる【装置】タブページに表示されます。
5 サービス電話番号	お使いの機器のサービス担当者の電話番号を入力します。数字と記号 (* - #) で32桁まで入力できます。この情報は、ユーザーがTopAccessを起動したときに開かれる【装置】タブページに表示されます。
6 管理者メッセージ	ユーザーに通知したいお使いの機器に関するメッセージを入力します。40文字まで入力できます。この情報は、ユーザーがTopAccessを起動したときに開かれる【装置】タブページに表示されます。
7 管理者パスワード	ログイン時に使用する管理者のパスワードを変更する場合は、6~10文字の半角の英数字で新規パスワードを入力します。
8 パスワードの確認	確認のために管理者パスワードを再入力します。
9 作業者パスワード	ログイン時に使用する作業者のパスワードを設定・変更する場合は、6~10文字の半角の英数字で新規パスワードを入力します。
10 パスワードの確認	確認のために作業者パスワードを再入力します。

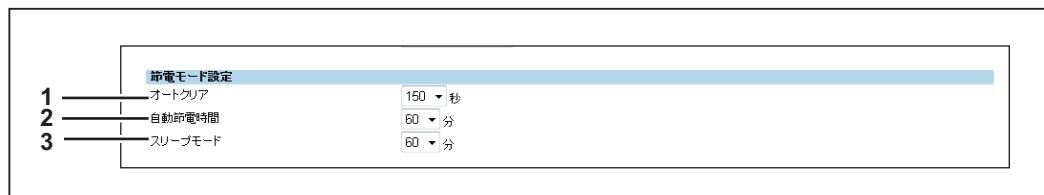
注意

作業者パスワードは必ず設定してください。

□ 節電モード設定

お使いの機器の節電モードの設定を行います。

節電モードの種類や移行手順については、[ユーザーガイド](#)を参照してください。



項目名	機能説明
1 オートクリア	お使いの機器のアイドル状態が続いた場合に、液晶画面をデフォルト表示に戻すまでの時間を選択します。
2 自動節電時間	お使いの機器のアイドル状態が続いた場合に、自動的に低電力モードに移行するまでの時間を選択します。
3 スリープモード	お使いの機器のアイドル状態が続いた場合に、自動的に電源オフにするまでの時間を選択します。
注意	
お使いの機器の動作状態によっては、設定時間どおりに移行しない場合があります。	

□ 日付と時間

日付とタイムゾーンを設定します。

	項目名	機能説明
1	日付と時間	1番目および2番目のフィールドで年月を選択し、3番目のフィールドに日付を入力して調整します。4番目のフィールドに時間、5番目のフィールドに分を入力して調整します。
2	タイムゾーン	本機を設置する場所のタイムゾーンを選択します。

□ WEB設定

表示言語とTopAccessのセッション確保時間を設定します。

	項目名	機能説明
1	言語選択	表示言語を選択します。
2	セッション確保時間	TopAccessのセッションデータを保持する時間を入力します。5から30の範囲の整数で入力します。

□ 部門管理設定

部門管理を有効にすると、コンピューターからの印刷操作、操作パネルからコピー・スキャン、ファックスの操作などを行うときに部門コードの入力画面を表示し、お使いの機器の操作を部門ごとに管理することができます。

	項目名	機能説明
1	部門コード	部門管理設定を有効にするかしないかを設定します。初期値は「無効」に設定されています。
2	部門コードなし印刷ジョブ	部門コードが有効に設定されている場合に、部門コードが設定されていない印刷ジョブまたは無効な部門コードが設定されている印刷ジョブを印刷するかしないかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 削除：部門コードが間違っていた場合は、印刷ジョブを削除します。 印刷：部門コードが間違っていても印刷します。

注意

部門管理を有効にするには、マスターコードの設定が必要です。マスターコードを設定していない場合は、本機の操作パネルで登録してください。

□ 管理者／作業者によるアドレス帳操作制限

管理者／作業者によるアドレス帳操作制限	
1	<input type="radio"/> 制限なし
2	<input checked="" type="radio"/> 管理者のみ操作可能

	項目名	機能説明
1	制限なし	すべてのユーザーがアドレス帳の操作を行うことができます。
2	管理者のみ操作可能	アクセスポリシーが管理者または作業者として設定されているユーザーのみがアドレス帳の操作を行うことができます。

□ 機密化設定

ジョブに表示される文書名やユーザー名、送信先などをアスタリスク (*) で伏せ字にするか設定します。

機密化設定		
1	ログデータプライバシー設定	保存しない
2	SNMPデータ制限	無効
3	セキュアデータの消去	削除

	項目名	機能説明
1	ログデータプライバシー設定	プライバシー保護のため、すべてのジョブログ、メッセージログ、およびファクス送受信管理記録にユーザーに関連する情報を保存するかどうかを設定します。この機能の設定後のログ保存に影響を及ぼします（設定前すでにあるログ内容には影響はありません）。
		<ul style="list-style-type: none">保存する：ユーザー関連情報をそのまま保存します。保存しない：ユーザー関連情報をアスタリスク (*) に置き換えて隠します。
2	SNMPデータ制限	プライバシー保護のため、SNMPのMIBデータ取得を制限するかどうかを設定します。
		<ul style="list-style-type: none">有効：ユーザー関連情報を含むMIBデータの取得を制限します。無効：ユーザー関連情報を含むMIBデータの取得を許可します。
3	セキュアデータの消去	[削除] をクリックすると、本機に保存された個人情報を含むデータや設定項目を一括で削除、初期化します。

■ ネットワーク設定

TCP/IP、フィルタリング、IPv6、DNS、SMB、HTTP、SMTPクライアント、POP3、FTPクライアント、SNMP、LLTDなどのネットワーク設定をセットアップすることができます。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ■ P.36 「TCP/IPの設定」 | ■ P.44 「SMTPクライアントの設定」 |
| ■ P.38 「フィルタリングの設定」 | ■ P.45 「POP3の設定」 |
| ■ P.40 「IPv6の設定」 | ■ P.46 「FTPクライアントの設定」 |
| ■ P.42 「DNSの設定」 | ■ P.46 「SNMPの設定」 |
| ■ P.43 「SMBの設定」 | ■ P.48 「LLTDの設定」 |
| ■ P.43 「HTTPの設定」 | ■ P.48 「スリープモードからの復帰設定」 |



[ネットワーク] サブメニューページで、リンクをクリックするかページをスクロールして、設定を変更するネットワーク設定の表を表示し、ボタンをクリックしてネットワーク設定をセットアップします。

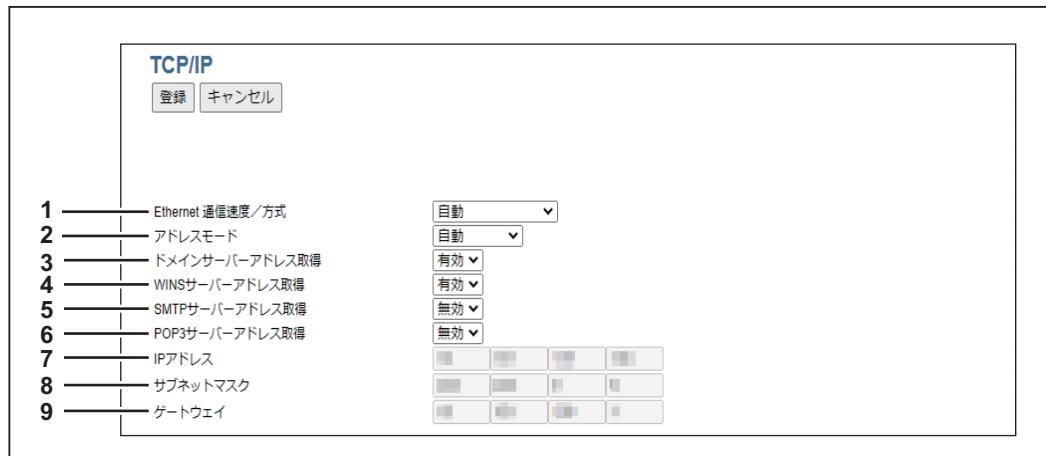
ネットワーク設定の各サブウインドウで、[登録] をクリックし、確認ダイアログメッセージで [OK] をクリックすると設定を保存してサブウインドウを閉じます。[キャンセル] をクリックすると、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻ります。

注 意

「TCP/IP」、「フィルタリング」および「IPv6設定」の設定が変更されると、本機を自動的に再起動します。

□ TCP/IPの設定

TCP/IPを介した通信を有効にするには、TCP/IPプロトコルを設定します。TopAccess、Raw TCPまたはLPD印刷、IPP印刷、Eメール送信の各機能を使用するには、TCP/IPを設定する必要があります。



	項目名	機能説明
1	Ethernet通信速度／方式	Ethernet通信速度を選擇します。 注意 <ul style="list-style-type: none">特定のEthernet速度を選択する場合は、接続しているネットワークの速度と同じ設定にする必要があります。Ethernetの設定が分からぬ場合は、[自動]を選択してください。設定を行ってもネットワークの接続が不安定な場合は、本機の電源を一度オフにした後、再度オンにしてください。
2	アドレスモード	IPアドレスの設定方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none">マニュアル：固定のIPアドレスを手動で設定します。このオプションを選択したときは、[IPアドレス] ボックスにIPアドレスを入力します。自動：AutoIP機能またはDHCPを使って、IPアドレスを自動で割り付けます。ネットワークがDHCPをサポートしている場合は、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを自動的にDHCPサーバーから取得することができます。ネットワークがDHCPをサポートしていない場合は、AutoIP機能を使用してIPアドレスを割り付けます。自動IPなし：AutoIP機能を使用せずDHCPのみを使ってIPアドレスを自動で割り付けます。ネットワークがDHCPをサポートしている場合はIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを自動的にDHCPサーバーから取得することができます。DHCPサーバーと通信できない場合は、前回使用したIPアドレスをそのまま使用します。
3	ドメインサーバーアドレス取得	ドメインサーバーアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する場合は、[有効]に設定します。この設定は[アドレス設定方法]オプションで[自動IPなし]または[自動]が設定されている場合のみ適用されます。初期値は[有効]に設定されています。 注意 <p>DHCPサーバーがプライマリおよびセカンダリDNSサーバーアドレスのデータを持っていない場合は、DNS設定のプライマリおよびセカンダリDNSサーバーアドレスに手動で正しい値を設定しても、反映されず値が空欄になります。その場合は、この設定を[無効]に設定し、DNS設定で正しいプライマリおよびセカンダリDNSサーバーアドレスを入力してください。</p>

□ P.42 「DNSの設定」

項目名			機能説明
4	WINSサーバーアドレス取得	WINSサーバーアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する場合は、[有効]に設定します。この設定は[アドレス設定方法]オプションで[自動IPなし]または[自動]が設定されている場合のみ適用されます。初期値は[有効]に設定されています。	
<p>注意</p> <p>DHCPサーバーがプライマリおよびセカンダリWINSサーバーアドレスのデータを持っていない場合は、SMB設定のプライマリおよびセカンダリWINSサーバーアドレスに手動で正しい値を設定しても、反映されず値が空欄になります。その場合は、この設定を[無効]に設定し、SMB設定で正しいプライマリおよびセカンダリWINSサーバーアドレスを入力してください。</p> <p> P.43 「SMBの設定」</p>			
5	SMTPサーバーアドレス取得	SMTPサーバーアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する場合は、[有効]に設定します。この設定は[アドレス設定方法]オプションで[自動IPなし]または[自動]が設定されている場合のみ適用されます。初期値は[無効]に設定されています。	
<p>注意</p> <p>DHCPサーバーがSMTPサーバーアドレスのデータを持っていない場合は、SMTPクライアント設定のSMTPサーバーアドレスに手動で正しい値を設定しても、反映されず値が空欄になります。その場合は、この設定を[無効]に設定し、SMTPクライアント設定で正しいSMTPサーバーアドレスを入力してください。</p> <p> P.44 「SMTPクライアントの設定」</p>			
6	POP3サーバーアドレス取得	POP3サーバーアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する場合は、[有効]に設定します。この設定は[アドレス設定方法]オプションで[自動IPなし]または[自動]が設定されている場合のみ適用されます。初期値は[無効]に設定されています。	
<p>注意</p> <p>DHCPサーバーがPOP3サーバーアドレスのデータを持っていない場合は、POP3設定のPOP3サーバーアドレスに手動で正しい値を設定しても、反映されず値が空欄になります。その場合は、この設定を[無効]に設定し、POP3設定で正しいPOP3サーバーアドレスを入力してください。</p> <p> P.45 「POP3の設定」</p>			
7	IPアドレス	<p>[アドレスモード] ボックスで[マニュアル]を選択したときに、お使いの機器に設定する固定のIPアドレスを入力します。0 0 0 0~255 255 255 255の範囲で設定します。</p> <p>ただし、0.0.0.0と255.255.255.255は設定できません。</p>	
8	サブネットマスク	<p>[アドレスモード] ボックスで[マニュアル]を選択したときに、必要に応じてサブネットマスクを入力します。0 0 0 0~255 255 255 255の範囲で設定します。</p> <p>ただし、0.0.0.0と255.255.255.255は設定できません。</p>	
9	ゲートウェイ	<p>[アドレスモード] ボックスで[マニュアル]を選択したときに、必要に応じてゲートウェイアドレスを入力します。0 0 0 0~255 255 255 255の範囲で設定します。</p> <p>ただし、0.0.0.0と255.255.255.255は設定できません。</p>	

□ フィルタリングの設定

本機へアクセスするクライアントを制限したい場合は、フィルタリングを設定します。フィルタリングの設定は、IPアドレスまたはMACアドレスで指定することができます。

注意

IPアドレスのフィルタリング設定よりもMACアドレスのフィルタリング設定の方が、より優先的に使用されます。

フィルタリング								
1	フィルタリング使用	無効	許可					
2	IPフィルタリングルール							
3	IPフィルタリング	開始アドレス	終了アドレス					
	フィルター-1	0 0 0 0	0 0 0 0					
	フィルター-2	0 0 0 0	0 0 0 0					
	フィルター-3	0 0 0 0	0 0 0 0					
	フィルター-4	0 0 0 0	0 0 0 0					
	フィルター-5	0 0 0 0	0 0 0 0					
	フィルター-6	0 0 0 0	0 0 0 0					
	フィルター-7	0 0 0 0	0 0 0 0					
	フィルター-8	0 0 0 0	0 0 0 0					
	フィルター-9	0 0 0 0	0 0 0 0					
	フィルター-10	0 0 0 0	0 0 0 0					
4	フィルタリング使用(IPv6)	無効	許可					
5	IPフィルタリングルール(IPv6)							
6	IPフィルタリング	開始アドレス	終了アドレス					
	フィルター-1					
	フィルター-2					
	フィルター-3					
	フィルター-4					
	フィルター-5					
	フィルター-6					
	フィルター-7					
	フィルター-8					
	フィルター-9					
	フィルター-10					
7	MACアドレス フィルタリング使用	無効	許可					
8	MACアドレス フィルタリングルール							
9	MACアドレス フィルタリング	MACアドレス						
	フィルター-1	
	フィルター-2	
	フィルター-3	
	フィルター-4	
	フィルター-5	
	フィルター-6	
	フィルター-7	
	フィルター-8	
	フィルター-9	
	フィルター-10	

項目名	機能説明
1 フィルタリング使用	IPアドレスでフィルタリングをする場合、[有効] に設定します。この設定を [有効] にすると、[IPフィルタリングルール] で選択した条件で、[IPフィルタリング] で指定したIPアドレスが設定されたネットワーク上の機器からのアクセスを制限します。初期値は [無効] に設定されています。
2 IPフィルタリングルール	IPフィルタリングの条件を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 許可 : [IPフィルタリング] で指定したIPアドレスが設定されたネットワーク上の機器からのアクセスを、許可します。 拒否 : 指定したIPアドレスが設定された機器からのアクセスを拒否します。
3 IPフィルタリング	IPフィルタリングするクライアントの開始IPアドレスと終了IPアドレスを入力します。最大10個の範囲を指定することができます。
4 フィルタリング使用 (IPv6)	IPv6アドレスでフィルタリングをする場合、[有効] に設定します。この設定を [有効] にすると、[IPフィルタリングルール (IPv6)] で選択した条件で、[IPフィルタリング] で指定したIPv6アドレスが設定されたネットワーク上の機器からのアクセスを制限します。初期値は [無効] に設定されています。
5 IPフィルタリングルール (IPv6)	IPv6フィルタリングの条件を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 許可 : [IPフィルタリング] で指定したIPv6アドレスが設定されたネットワーク上の機器からのアクセスを、許可します。 拒否 : 指定したIPv6アドレスが設定された機器からのアクセスを拒否します。
6 IPフィルタリング	IPv6フィルタリングするクライアントの開始IPv6アドレスと終了IPv6アドレスを入力します。最大10個の範囲を指定することができます。
7 MACアドレス フィルタリング 使用	MACアドレスでフィルタリングをする場合、[有効] に設定します。この設定を [有効] にすると、[MACアドレス フィルタリングルール] で選択した条件で、[MACアドレス フィルタリング] で指定したMACアドレスが割り当てられたネットワーク上の機器からのアクセスを制限します。初期値は [無効] に設定されています。
8 MACアドレス フィルタリング ルール	MACアドレスフィルタリングの条件を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 許可 : [MACアドレス フィルタリング] で指定したMACアドレスが割り当てられたネットワーク上の機器からのアクセスを許可します。 拒否 : 指定したMACアドレスが割り当てられた機器からのアクセスを拒否します。
9 MACアドレス フィルタリング	MACアドレスフィルタリングするクライアントのMACアドレスを入力します。最大10個のアドレスを指定することができます。

□ IPv6の設定

IPv6を介した通信を有効にするには、IPv6プロトコルを設定します。

IPv6設定

1 IPv6使用 無効

2 リンクローカルアドレス ::0

3 アドレスモード 手動

IPアドレス:

プレフィックス長: 0

ゲートウェイ:

DHCPv6 サーバーをオプションに使用する

4 ステートレスアドレスを使用する

NO: IPアドレス	プレフィックス長
1::	0
2::	0
3::	0
4::	0
5::	0
6::	0
7::	0

ゲートウェイ:

5 ステートフルアドレスを使用する

IPアドレス	プレフィックス長	ゲートウェイ
::	0	::

	項目名	機能説明
1	IPv6使用	IPv6プロトコルの有効／無効を選択します。初期値は【無効】に設定されています。
2	リンクローカルアドレス	自動的に生成されたIPv6用の固有なIPアドレスを表示します。

項目名		機能説明
3	手動	<p>IPv6アドレスを手動で設定します。設定できるIPv6アドレスは1個です。</p> <p>IPアドレス：本機のIPアドレスを入力します。0:0:0:0:0:0:0:0~ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffffの範囲で設定します。</p> <p>下記は設定できません。</p> <p>リンクローカルアドレスの場合：先頭に「FE80」</p> <p>マルチキャストアドレスの場合：先頭に「FF」例：「FF00」</p> <p>ループバックアドレスの場合：末尾に「::1」</p> <p>IPv4互換アドレス、IPv4射影アドレスの場合：末尾に「::ffff:x.x.x.x」(x.x.x.xはIPv4アドレス)</p> <p>プレフィックス長：IPv6のプレフィックス長を入力します。0~128の範囲で設定します。初期値は「0」に設定されています。</p> <p>ゲートウェイ：デフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。0:0:0:0:0:0:~ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffffの範囲で設定します。</p> <p>下記は設定できません。</p> <p>サイトローカルアドレスの場合：先頭に「FEC0」</p> <p>マルチキャストアドレスの場合：先頭に「FF」例：「FF00」</p> <p>ループバックアドレスの場合：末尾に「::1」</p> <p>グローバルアドレスの場合：先頭に「2」または「3」例：「2001」、「2002」、「3FFE」</p> <p>IPv4互換アドレス、IPv4射影アドレスの場合：末尾に「::ffff:x.x.x.x」(x.x.x.xはIPv4アドレス)</p> <p>ステートフルアドレスを使用する：DHCPv6サーバーから通知されるDNSサーバーのIPv6アドレスなどのオプション情報を使用します。</p>
補足		<ul style="list-style-type: none"> マニュアルを選択した場合、ステートフルアドレスは設定できません。 IPv6アドレスが重複した場合は、DAD (Duplicate Address Detection) 機能にて検知し、本機の液晶画面に通知します。
4	ステートレスアドレスを使用する	<p>ルーターから通知されるIPv6アドレス（ステートレスアドレス）を自動で取得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> IPアドレス：ステートレスアドレスを表示します。最大7個までのIPv6アドレスを保持することができます。
5	ステートフルアドレスを使用する	<p>DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス（ステートフルアドレス）を自動で取得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> IPアドレス：取得したステートフルアドレス、プレフィックス長、ゲートウェイを表示します。

□ DNSの設定

DNSを使用してSMTPサーバーおよびPOP3サーバーの指定にFQDNを設定したい場合に、DNSサーバーを有効にします。

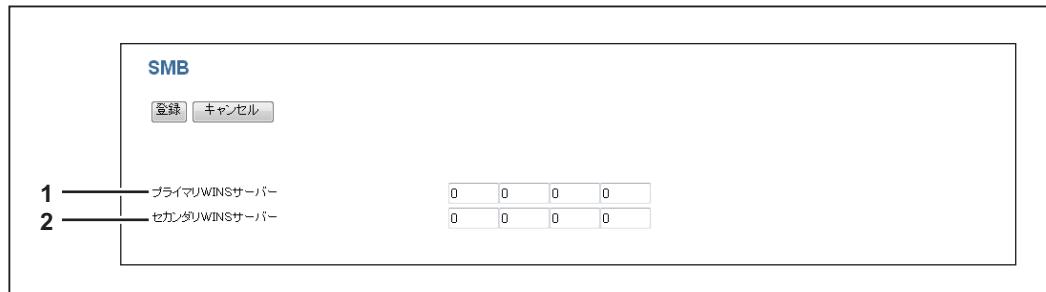
The screenshot shows the 'DNS' configuration screen. It includes the following fields:

- 1 DNS使用 (有効/無効): Primary DNS server address (IP or IPv6).
- 2 DNS使用 (IPv6): Secondary DNS server address (IP or IPv6).
- 3 プライマリDNSサーバーアドレス: Primary DNS server address (IP or IPv6).
- 4 セカンダリDNSサーバーアドレス: Secondary DNS server address (IP or IPv6).
- 5 プライマリDNSサーバーアドレス: Primary DNS server address (IP or IPv6).
- 6 セカンダリDNSサーバーアドレス: Secondary DNS server address (IP or IPv6).
- 7 ホスト名: Host name.
- 8 ドメイン名: Domain name.

項目名	機能説明
1 DNS使用	DNSサーバーの有効／無効を選択します。初期値は「有効」に設定されています。
2 DNS使用 (IPv6)	IPv6でのDNSサーバーの有効／無効を選択します。初期値は「有効」に設定されています。
3 プライマリDNSサーバーアドレス	DNSサービスが有効な場合に、プライマリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。0 0 0 0～255 255 255 255の範囲で設定します。
4 セカンダリDNSサーバーアドレス	DNSサービスが有効な場合に、必要に応じてセカンダリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。0 0 0 0～255 255 255 255の範囲で設定します。
5 プライマリDNSサーバーアドレス	IPv6でDNSサービスが有効な場合に、プライマリDNSサーバーのIPv6アドレスを指定します。1:1:1:1:1:1:1:1～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffffの範囲で設定します。 下記は設定できません。 マルチキャストアドレスの場合：先頭に「FF」例：「FF00」 ループバックアドレスの場合：末尾に「::1」 IPv4互換アドレス、IPv4射影アドレスの場合：末尾に「::ffff:x.x.x.x」 (x.x.x.xはIPv4アドレス)
6 セカンダリDNSサーバーアドレス	IPv6でDNSサービスが有効な場合に、必要に応じてセカンダリDNSサーバーのIPv6アドレスを指定します。1:1:1:1:1:1:1:1～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffffの範囲で設定します。 下記は設定できません。 マルチキャストアドレスの場合：先頭に「FF」例：「FF00」 ループバックアドレスの場合：末尾に「::1」 IPv4互換アドレス、IPv4射影アドレスの場合：末尾に「::ffff:x.x.x.x」 (x.x.x.xはIPv4アドレス)
7 ホスト名	ホスト名を指定します。
8 ドメイン名	ドメイン名を指定します。

□ SMBの設定

SMBでは、SMBネットワークの各プロパティを設定し、本機からのMicrosoft Windowsネットワークへのアクセスを有効にします。SMBを有効にすると、ネットワークフォルダーを参照できるようになります。また、異なるサブネット間のファイル保存をWINSサーバーを使って解決している場合は、WINSサーバーアドレスを指定します。



	項目名	機能説明
1	プライマリWINSサーバー	WINSサーバーを使用して本機のNetBIOS名およびワークグループ名を解決する必要がある場合に、プライマリWINSサーバーのIPアドレスを指定します。0 0 0 0～255 255 255 255の範囲で設定します。異なるサブネットからNetBIOS経由でアクセスしたい場合に設定します。
2	セカンダリWINSサーバー	WINSサーバーを使用して本機のNetBIOS名およびワークグループ名を解決する必要がある場合に、必要に応じてセカンダリWINSサーバーのIPアドレスを指定します。0 0 0 0～255 255 255 255の範囲で設定します。プライマリWINSサーバーが使用できない場合に、セカンダリWINSサーバーが使用されます。

注意

[プライマリWINSサーバー] および [セカンダリWINSサーバー] に、「0.0.0.0」を入力した場合は、WINSの設定は無効になります。

□ HTTPの設定

HTTPでは、TopAccessなどのWebベースのサービスを有効にするかを設定します。



	項目名	機能説明
1	HTTPサーバー使用	TopAccessなどのWebベースのサービスを有効にするか選択します。初期値は [有効] に設定されています。
2	プライマリポート番号	HTTPアクセスに使用するポート番号を入力します。1から65535までの値を入力できます。通常は、初期値の「80」を使用します。

注意

1未満の入力値の場合は1に修正されます。65535を超える入力値の場合は65535に修正されます。

□ SMTPクライアントの設定

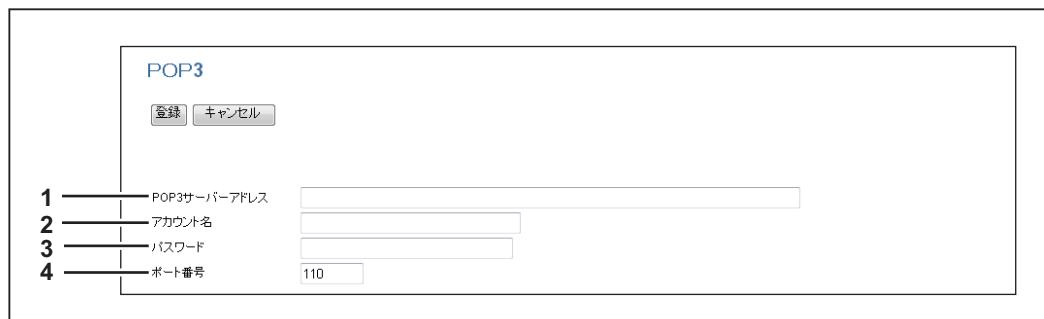
SMTPクライアントでは、EメールのSMTP送信を有効にするか選択します。

	項目名	機能説明
1	SMTPクライアント使用	本機からSMTPサーバーを介してEメールを送信する場合に有効にします。初期値は「有効」に設定されています。
2	SSL使用	SMTPサーバーにアクセスするときにSSL (Secure Socket Layer) を使用するか選択します。 <ul style="list-style-type: none">無効 : SSLを無効にします。すべての証明書を受け入れる : SSLを有効にします。認証時にすべての証明書を受け入れます。
注意 SSLを使用するには、サーバーのOSがSSLをサポートしている必要があります。		
3	SSL/TLS	[SSL使用] を有効にした場合に、SSLに使用するプロトコルを選択します。 <ul style="list-style-type: none">Over SSL : メッセージをSSL (Secure Socket Layer) で送信する場合に選択します。STARTTLS : SMTPの拡張コマンドであるSTARTTLSを使用してメッセージをTLS (Transport Layer Security) で送信する場合に選択します。
注意 [SMTP over SSL] を選択した場合は、ポート番号を「465」に設定してください。		
4	SMTPサーバーアドレス	[SMTPクライアント使用] を有効にした場合に、SMTPサーバーのIPアドレスまたはFQDNを入力します。半角英数字と記号、半角スペースを含み128文字まで入力できます。
注意 FQDNを使用してSMTPサーバーを指定する場合は、DNSサーバーを設置しDNSの設定を有効にする必要があります。		
5	POP Before SMTP	POP Before SMTP認証を有効にするかどうかを選択します。初期値は「無効」に設定されています。
6	認証	SMTPサーバーに接続するための認証方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none">無効 : 認証を使用せずにSMTPサーバーに接続する場合に選択します。自動 : 自動で認証を識別してSMTPサーバーに接続する場合に選択します。

	項目名	機能説明
7	ログイン名	認証を使用してSMTPサーバーに接続する場合に、SMTPサーバーに接続するためのログイン名を入力します。半角英数字と記号、半角スペースを含み64文字まで入力できます。
8	パスワード	認証を使用してSMTPサーバーに接続する場合に、SMTPサーバーに接続するためのパスワードを入力します。半角英数字と記号、半角スペースを含み64文字まで入力できます。 パスワードはアスタリスク (*) で表示されます。
9	ポート番号	[SMTPクライアント使用] を有効にした場合に、SMTPサーバーにアクセスするためのポート番号を入力します。入力するポート番号は、SMTPサーバーのポート設定によって異なります。1から65535までの値を入力できます。通常は、初期値の「25」を使用します。
注 意		1未満の入力値の場合は1に修正されます。65535を超える入力値の場合は65535に修正されます。
10	SMTPクライアントの接続 タイムアウト (1-180)	SMTPサーバーに接続するまでの制限時間を1~180秒の間で設定します。初期値は30秒に設定されています。

□ POP3の設定

POP3では、POP3サーバーを設定します。



	項目名	機能説明
1	POP3サーバーアドレス	POP3サーバーのIPアドレスまたはFQDNを入力します。半角英数字と記号、半角スペースを含み128文字まで入力できます。
注 意		FQDNを使用してPOP3サーバーを指定する場合は、DNSサーバーを設置しDNSの設定を有効にする必要があります。
2	アカウント名	本機がPOP3サーバーにアクセスするためのアカウント名を入力します。半角英数字と記号で96文字まで入力できます。
3	パスワード	本機がPOP3サーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。半角英数字と記号で32文字まで入力できます。 パスワードはアスタリスク (*) で表示されます。
4	ポート番号	POP3サーバーにアクセスするポート番号を入力します。入力するポート番号は、POP3サーバーのポート設定によって異なります。1から65535までの値を入力できます。通常は、初期値の「110」を使用します。

□ FTPクライアントの設定

FTPクライアントでは、[共有フォルダーに保管] 操作でFTPを使ってネットワークフォルダーに文書を保存する場合に、初期値として使用されるポート番号を設定します。

	項目名	機能説明
1	ポート番号 (初期値)	ネットワークフォルダーにFTPでアクセスするときに使用するポート番号を入力します。FTPで使用するポート番号はFTPサーバーの設定によって異なることがあります。1から65535までの値を入力できます。通常は、初期値の「21」を使用します。

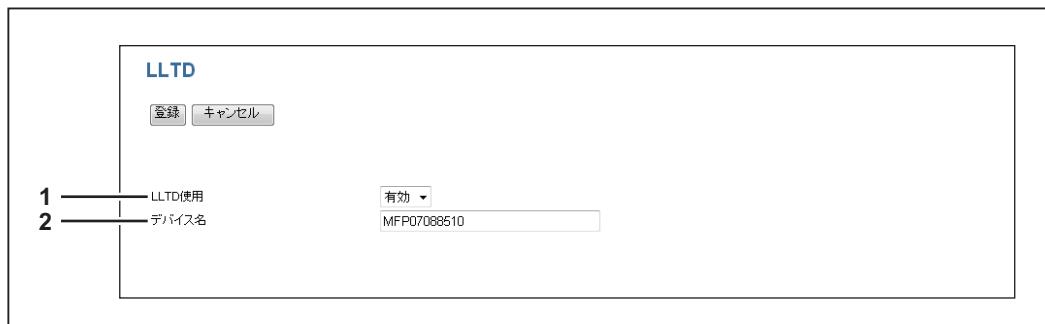
□ SNMPの設定

SNMPでは、SNMPネットワーク監視ユーティリティを使って装置状態を監視するSNMPを有効にするか選択します。管理者が本機のMIBに適合したSNMPネットワーク監視ユーティリティを使って装置状態を監視したい場合は、SNMPおよびSNMPトラップを有効に設定する必要があります。

項目名	機能説明
1 SNMP使用	SNMPの有効／無効を選択します。初期値は「有効」に設定されています。
2 IPv6 SNMP使用	IPv6 SNMPの有効／無効を選択します。初期値は「有効」に設定されています。
3 リードコミュニティ	SNMPアクセス用のSNMPリードコミュニティ名を入力します。半角英数字と記号で31文字まで入力できます。初期値は「public」に設定されています。
<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> セキュリティの観点から、リードコミュニティのコミュニティ名は、工場出荷時のコミュニティ名から変更して使用していただくことを推奨します。 リードコミュニティのコミュニティ名を変更する場合は、お使いのアプリケーションと設定を合わせてください。設定を合わせないと、MIBを使用しているアプリケーションが使用できなくなります。 リードコミュニティを空欄にした場合、クライアントコンピューターと本機のSNMP通信はできなくなります。 	
4 リードライトコミュニティ	SNMP通信による読み書きを許可するSNMPリードライトコミュニティ名を入力します。半角英数字と記号で31文字まで入力できます。初期値は「private」に設定されています。
<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> セキュリティの観点から、リードライトコミュニティのコミュニティ名は、工場出荷時のコミュニティ名から変更して使用していただくことを推奨します。 リードコミュニティのコミュニティ名を変更する場合は、お使いのアプリケーションと設定を合わせてください。設定を合わせないと、MIBを使用しているアプリケーションが使用できなくなります。 	
5 認証トラップ使用	指定したプライベートコミュニティ以外からSNMPにより本機にアクセスがあった場合に、SNMPトラップを送信するかを選択します。初期値は「有効」に設定されています。
6 警告トラップ使用	警告状況が発生したときに、SNMPトラップを送信するかを選択します。初期値は「有効」に設定されています。
7 トラップ送信先 1～10	SNMPトラップを送信するIPアドレスを入力します。アドレスは10ヶ所まで指定することができます。0 0 0 0～255 255 255 255の範囲で設定します。
8 IPv6トラップ送信先 1～10	SNMPトラップを送信するIPv6アドレスを入力します。アドレスは10ヶ所まで指定することができます。0:0:0:0:0:0:0:0～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffffの範囲で設定します。
9 IPトラップコミュニティ	IPトラップ用のトラップコミュニティ名を入力します。半角英数字と記号、半角スペースを含み31文字まで入力できます。初期値は「public」に設定されています。

□ LLTDの設定

LLTD（Link Layer Topology Discovery）は、デバイスの接続検証やTopAccessの起動などを行う場合に有効に設定します。Windows Server 2012でローカルネットワーク上のデバイスの探索を行い、ネットワークマップに位置情報やIPアドレス、MACアドレス、プロファイルなどを表示することができます。



	項目名	機能説明
1	LLTD使用	LLTDの有効／無効を設定します。 ・ 有効 ：LLTDを有効にします。 ・ 無効 ：LLTDを無効にします。
2	デバイス名	ネットワークマップに表示されるデバイス名を入力します。 半角英数字と記号、半角スペースを含み16文字まで入力できます。

□ スリープモードからの復帰設定

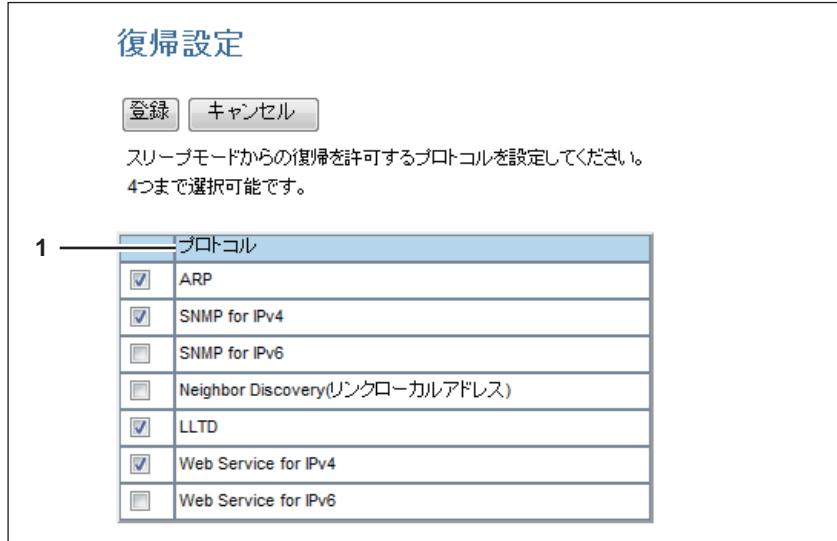
スリープモード中のネットワークアクセスについて設定します。
ネットワーク検索により本機をスリープモードから復帰させたい場合などに設定してください。

注 意

初期設定は、[ARP]、[SNMP for IPv4]、[LLTD]、[Web Service for IPv4] が選択されています。

- ・[復帰設定] の設定は、不特定多数のMFPにデータを送信する「ブロードキャスト」と複数のMFPを指定してデータを送信する「マルチキャスト」で有効です。特定のアドレスを指定して送信する「ユニキャスト」では、[復帰設定] の設定は無効です。
- ・節電モード設定で、スリープモード設定が「有効」に設定されている場合に、復帰設定が有効になります。スリープモード設定が「有効」に設定されていない場合は、本機がスリープモードに移行しないので、復帰設定は無効になります。

■ P.32 「節電モード設定」



項目名	機能説明
1 プロトコル	<p>本機をスリープモードから復帰させるプロトコルを選択します。選択できるプロトコル数は、機種によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ARP IPv4環境で本機を使用する場合に、アドレス解決ができるようになります。 SNMP for IPv4 IPv4環境でClient Utilitiesを使用する場合に、SNMPでネットワーク検索されるようになります。 SNMP for IPv6 IPv6環境でClient Utilitiesを使用する場合に、SNMPでネットワーク検索されるようになります。 Neighbor Discovery (リンクローカルアドレス) IPv6環境で本機を使用する場合に、アドレス解決ができるようになります。 LLTD ネットワークマップを利用する場合に、ネットワークマップの表示（デバイス探索）ができるようになります。 Web Services for IPv4 IPv4環境でWS-Discoveryを使用する場合に、WS-Discoveryでネットワーク検索されるようになります。 Web Services for IPv6 IPv6環境でWS-Discoveryを使用する場合に、WS-Discoveryでネットワーク検索されるようになります。

注 意

- スリープモードからの復帰設定では、各プロトコルの設定の「有効」/「無効」に関係なく、任意のプロトコルを選択できます。ただし、復帰設定で選択していても、選択したプロトコルがプロトコルの設定で「無効」に設定されている場合は、本機はスリープモードから復帰しません。
- 本設定で選択したプロトコルでネットワークアクセスを行っても、本機から応答が来ない場合は、ネットワークアクセスを再試行してください。

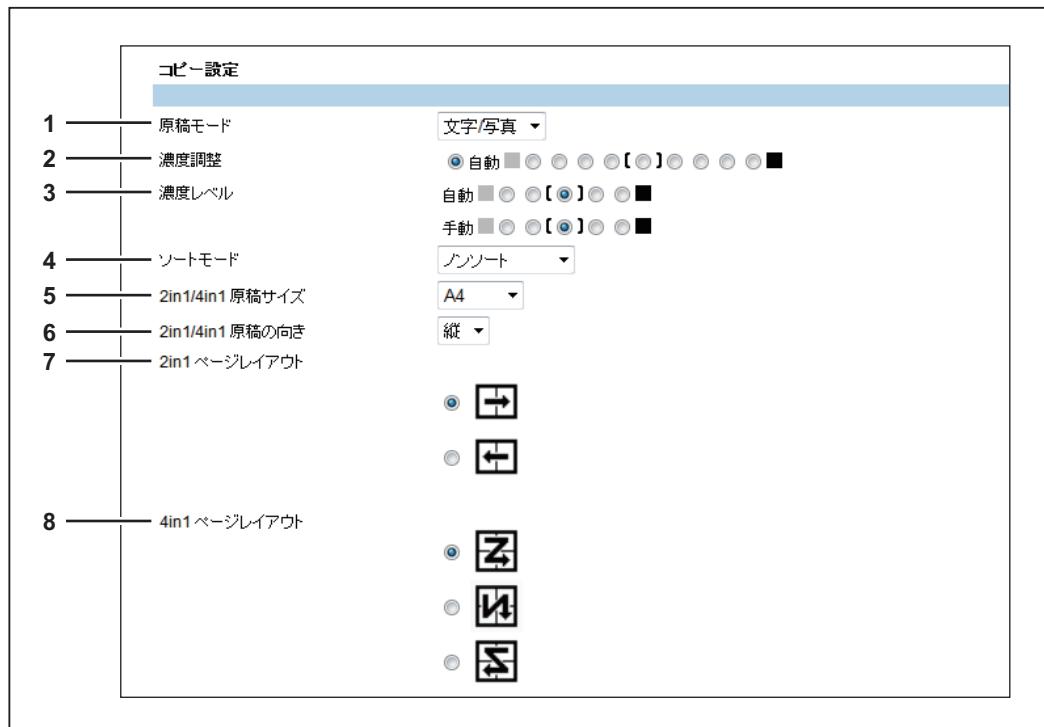
補 足

以下に記載するプロトコルを使っての通信や、特定のアドレスを指定して送信する「ユニキャスト」の通信では、復帰設定を行わなくても、スリープモードから復帰できます。

- IPP
- FTP
- HTTP
- SMTP
- SNMP
- RAW9100
- LPD
- WebService

■ コピー設定

初期設定では、液晶画面から行うコピー操作に適用する標準のコピー設定をセットアップします。

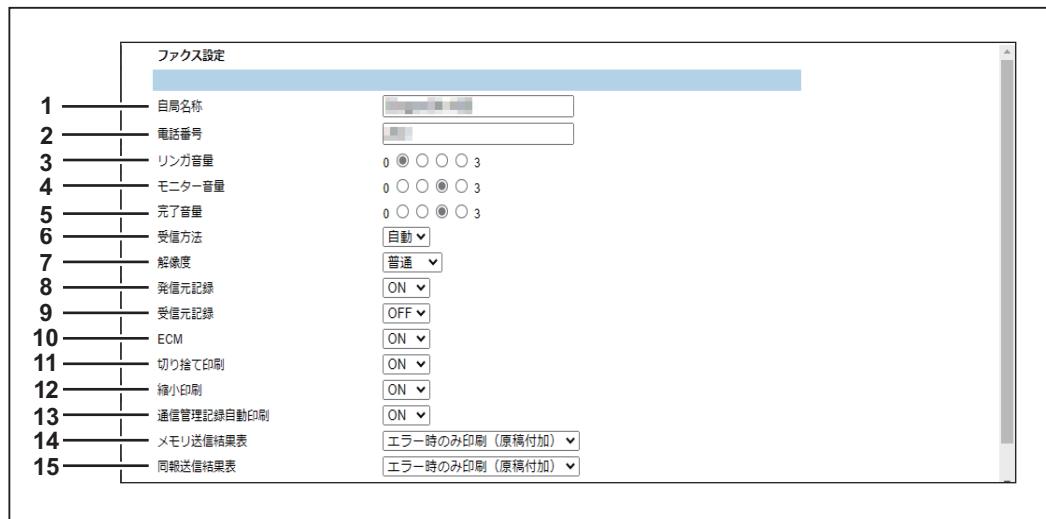


項目名	機能説明
1 原稿モード	標準の原稿モードを選択します。 ・ <u>文字／写真</u> ：文字と写真が混在する原稿をコピーする場合に選択します。 ・ <u>文字</u> ：文字のみ、または文字と線画のみの原稿をコピーする場合に選択します。 ・ <u>写真</u> ：写真原稿をコピーする場合に選択します。 ・ <u>下地除去</u> ：原稿の下地（背景）の色が濃い場合に選択します。
2 濃度調整	イメージの濃度を選択します。自動を選択すると、原稿の濃度を自動的に検知して最適な濃度でコピーします。手動で濃度を設定する場合は、-4～+4の範囲で選択します。
3 濃度レベル	濃度調整で濃度を調整するときの基準となるセンター値を設定します。
4 ソートモード	コピーを実行する際に適用する標準のソートモードを選択します。 ・ <u>ノンソート</u> ：ソートを行わず排紙します。 ・ <u>ソート</u> ：原稿と同じページ順に、1部ごとに仕分けた状態で排紙します。 ・ <u>縦横交互排紙*</u> ：原稿と同じページ順に、1部ごとに仕分けた状態で、縦横交互に排紙します。
5 2in1/4in1原稿サイズ	2in1/4in1原稿サイズの初期値を設定します。
6 2in1/4in1原稿の向き	2in1/4in1原稿の向きの初期値を設定します。
7 2in1ページレイアウト	2in1ページレイアウトの初期値を設定します。
8 4in1ページレイアウト	4in1ページレイアウトの初期値を設定します。

* この項目は、給紙ユニット装着時のみ表示されます。

■ ファクス設定

ファクス設定では、液晶画面から行うファクス操作に適用する標準のファクス設定をセットアップします。



項目名	機能説明
1 自局名称	本機を識別するターミナルID（会社名）を入力します。半角英数字、記号、半角スペースと半角カタカナで20文字まで入力できます。この名称は、本機から送信されるすべての文書の先頭に印字されます。
2 電話番号	本機の電話番号を入力します。数字、記号（+ -）と半角スペースで20桁まで入力できます。この電話番号は、本機の回線1から送信されるすべての文書の先頭に印字されます。
3 リンガ音量	呼び出し音量を選択します。
4 モニター音量	送信中の回線モニター音量を選択します。
5 完了音量	受信完了の告知音量を選択します。
6 受信方法	ファクス受信時に本機をどのように動作させるかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動：自動的に、ファクスは受信し、音声電話は切断します。 ・ 手動：操作パネルの [スタート] ボタンを押すことによって、着信原稿の受信を開始します。 ・ TEL/FAX：受信したときに電話かファクスかを自動的に検知します。電話としても使用されている回線に本機を接続する場合に選択します。 ・ FAX/留守録：受信したときに電話かファクスかを自動的に検知します。電話としても使用されている回線に本機を接続する場合で、本機を留守番電話に接続するときに選択します。
7 解像度	ファクスを送信する際に適用する標準の解像度を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通：標準の解像度に標準モードを適用します。このモードは、普通サイズの文字で構成されたテキスト原稿をひんぱんに送信する場合に適しています。 ・ 精細：標準の解像度に精細モードを適用します。このモードは、細かい文字や細かな線画を含む原稿を送信する場合に適しています。 ・ 高精細：標準の解像度に高精細モードを適用します。このモードは、特に細かい文字や精密な線画を含む原稿を送信する場合に適しています。
8 発信元記録	送信者を識別する送信ヘッダー（TTI）を受信ファクスに印刷するかを選択します。

	項目名	機能説明
9	受信元記録	受信した時刻、日付、ページ数を確認する受信ヘッダー（RTI）を受信ファクスに印刷するか選択します。
10	ECM	文書が電話回線のノイズや歪みなどにより影響を受けた部分があるときに、自動的に再送するECM（Error Correction Mode：自動誤り訂正モード）を有効にするか選択します。
11	切り捨て印刷	記録紙より大きなファクス原稿を受信したときに、受信したファクス原稿の下の部分を切り捨てるかを選択します。
12	縮小印刷	記録紙の印刷可能範囲より大きなファクス原稿を受信したときに、受信したファクス原稿を縮小するか選択します。
13	通信管理記録自動印刷	通信を完了するたびに、送信ジャーナルや受信ジャーナルを自動的に印刷するか選択します。
14	メモリ送信結果表	メモリ送信を実行した後に、どのように結果レポートを印刷するか選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • OFF：メモリ送信レポートを印刷しません。 • 常時印刷：メモリ送信を完了するたびにメモリ送信レポートを印刷します。 • エラー時のみ印刷：メモリ送信に失敗した場合にのみメモリ送信レポートを印刷します。 • 常時印刷（原稿付加）：メモリ送信を完了するたびに、原稿の最初のページを添付したメモリ送信レポートを印刷します。 • エラー時のみ印刷（原稿付加）：メモリ送信に失敗した場合にのみ、最初のページのイメージを添付したメモリ送信レポートを印刷します。
15	同報送信結果表	同報送信を実行した後に、どのように結果レポートを印刷するか選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • OFF：同報送信レポートを印刷しません。 • 常時印刷：同報送信を完了するたびに同報送信レポートを印刷します。 • エラー時のみ印刷：同報送信に失敗した場合にのみ同報送信レポートを印刷します。 • 常時印刷（原稿付加）：同報送信を完了するたびに、最初のページのイメージを添付した同報送信レポートを印刷します。 • エラー時のみ印刷（原稿付加）：同報送信に失敗した場合にのみ、最初のページのイメージを添付した同報送信レポートを印刷します。

■ 共有フォルダーに保管設定

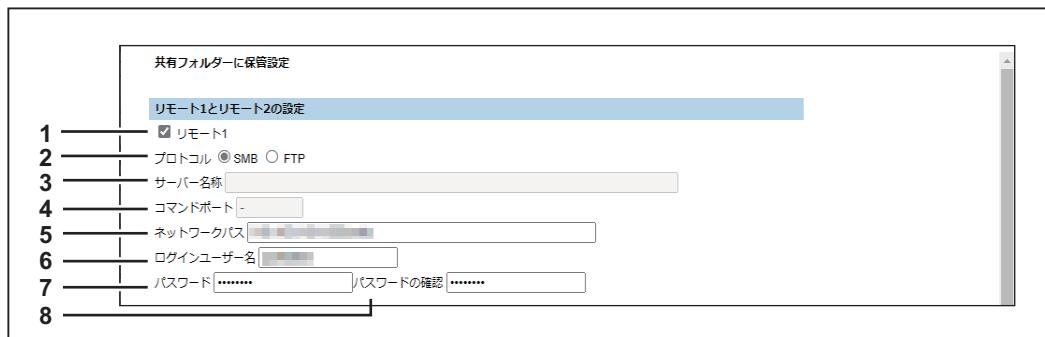
共有フォルダー保存設定をセットアップすることができます。

□ リモート1とリモート2の設定

適用されるネットワークフォルダーの保存先の設定を行います。リモート1およびリモート2の2つのネットワークフォルダーを指定することができます。リモート1、リモート2の設定項目は同じです。

注意

保存先のネットワークフォルダーは、共有設定されている必要があります。



項目名	機能説明
1 [リモート1] / [リモート2]	利用するリモートを選択します。
2 プロトコル	スキャンファイルをネットワークフォルダーに転送するときに使用するプロトコルを選択します。 • SMB : SMBプロトコルを使用してスキャンファイルをネットワークフォルダーに転送します。 • FTP : スキャンファイルをFTPサーバーに転送します。
3 サーバー名称	プロトコルでFTPを選択した場合は、スキャンファイルを転送するFTPサーバー名またはIPアドレスを入力します。たとえば、スキャンファイルをFTPサーバーの「ftp://192.168.1.1/user/scanned」というFTPフォルダーに転送する場合は、このボックスに「192.168.1.1」と入力します。半角英数字と記号 (- ./ _ : %) で、64文字まで入力できます。
4 コマンドポート	プロトコルでFTPを選択した場合に、コマンド実行に使用するポート番号を入力します。通常は、初期状態で入力された「-」のままにします。「-」にした場合は、ネットワークの設定ページの [FTPクライアント] で設定したポート番号（初期値）が適用されます。初期設定のポート番号とは別のポート番号を指定したい場合のみこの値を変更します。数字と「-」（ハイフン）を使用して、1から65535までの値を入力できます。初期値は「-」に設定されています。
5 ネットワークパス	プロトコルにSMBを選択した場合は、ネットワークフォルダーへのネットワークパスを入力します。たとえば、SMBサーバー名が「Client01」というコンピューターの「users¥scanned」というフォルダーを指定する場合は、「¥¥Client01¥users¥scanned」と入力します。プロトコルにFTPを選択した場合は、指定したFTPサーバーのディレクトリを入力します。たとえば、FTPサーバーの「ftp://192.168.1.1/user/scanned」というフォルダーを指定する場合は、「user/scanned」と入力します。半角英数字と記号 (" * ; < > ? [] を除く)、半角スペースを含み128文字まで入力できます。

項目名	機能説明
6 ログインユーザー名	必要に応じて、SMBサーバーまたはFTPサーバーにアクセスするためのログインユーザー名を入力します。プロトコルにFTPを選択した場合、このボックスを空欄にすると、匿名でのログインと判断されます。半角英数字と記号 (" , : ; < > [¥] を除く) で32文字まで入力できます。
7 パスワード	必要に応じて、SMBサーバーまたはFTPサーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。半角英数字と記号で32文字まで入力できます。
8 パスワードの確認	確認のためにパスワードを再入力します。

■ Eメール設定

Eメール文書に適用する送信者アドレス、送信者名、ファイル形式、分割送信サイズ、本文を設定します。

注意

設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体液晶画面に反映されないことがあります。設定を変更した場合は、操作パネルの [リセット] ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。

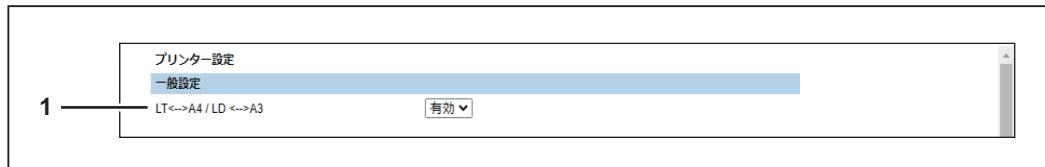


項目名	機能説明
1 送信者アドレス	本機のEメールアドレスを入力します。半角英数字、記号と半角スペースで、192文字まで入力できます。
注意	
Eメール送信を有効にするには、[送信者アドレス] を入力する必要があります。	
2 送信者名	本機の名前を入力します。64文字まで入力できます。
3 ファイル形式	Eメール送信操作で送信されるスキャンイメージのファイル形式を選択します。 <ul style="list-style-type: none">PDF (マルチ)：スキャンイメージを複数ページのPDFファイルとして保存します。PDF (シングル)：スキャンイメージを、1ページ1ファイルのPDFファイルとして保存します。TIFF (マルチ)：スキャンイメージを複数ページのTIFFファイルとして保存します。TIFF (シングル)：スキャンイメージを、1ページ1ファイルのTIFFファイルとして保存します。
4 分割送信サイズ	メッセージの分割サイズを選択します。
5 本文 (初期値)	液晶画面からユーザーがEメール送信操作を実行するときに、[本文]ボックスに自動的に入力される標準の本文を設定します。この本文は、ユーザーがEメール送信操作を行うときに、自由に変更することができます。1,000文字まで入力できます。

■ プリンター設定

□ 一般設定

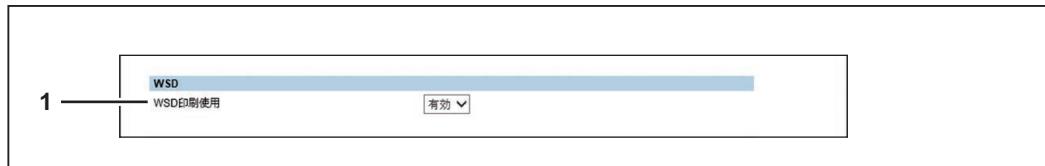
プリンター関連の機能を設定します。



項目名	機能説明
1 LT<-->A4/LD<-->A3	印刷ジョブに設定された用紙サイズがセットされていない場合に、自動的に異なる用紙に印刷するか選択します。[有効] を選択した場合、たとえば、レターサイズに設定された印刷ジョブをA4用紙に印刷することができます。[無効] を選択した場合は、印刷ジョブに設定されているサイズと同じサイズの用紙をカセットにセットするようメッセージが表示されます。初期値は「有効」に設定されています。

□ WSDの設定

Web Serviceプリントを行う場合に設定します。



項目名	機能説明
1 WSD印刷使用	Web Serviceプリントの有効／無効を設定します。 • 有効 : Web Serviceプリントを有効にします。 • 無効 : Web Serviceプリントを無効にします。

注意

e-BRIDGE Print and Captureから印刷・スキャンを行う場合は、この設定を有効にしてください。

□ Raw印刷ジョブ印刷初期値設定

LPRキューが指定されていないRaw印刷ジョブ、または指定したLPRキューが存在しないRaw印刷ジョブに適用される印刷設定を設定します。



項目名	機能説明
1 Raw印刷ジョブ - 両面印刷	Raw印刷ジョブを両面印刷するか選択します。
2 Raw印刷ジョブ - 用紙サイズ	Raw印刷ジョブに適用する標準の用紙サイズを選択します。
3 Raw印刷ジョブ - 用紙タイプ	Raw印刷ジョブに適用する標準の用紙の種類を選択します。
4 Raw印刷ジョブ - 用紙向き	Raw印刷ジョブに適用する標準の印刷の向きを選択します。
5 PCLフォームライン	行ピッチのポイントサイズを入力します (12.00の場合、1インチ6行となります)。
6 PCLフォントピッチ	選択したフォント番号が固定ピッチフォントである場合に、フォントピッチを入力します。文字ピッチは1インチあたりのANK文字の数で計算されます。10ピッチタイプは、1インチにANK文字を10文字印刷します。
7 PCLフォントサイズ	選択したフォント番号がプロポーショナルフォントである場合に、フォントサイズを入力します。フォントサイズオプションでは、標準フォントのポイントサイズ (高さ) を決定することができます。
8 PCLフォント番号	印刷を行う際に、標準フォントとして使用する内蔵PCLフォントのフォント番号を入力します。フォント番号および内蔵PCLフォントは、内蔵PCLフォントリストで確認することができます。フォント番号および内蔵PCLフォントについては、 印刷ガイド を参照してください。
9 PCL改行設定	改行設定を選択します。
10 シンボルセット	Raw印刷ジョブに適用するシンボルセットを選択します。
11 給紙方法	Raw印刷ジョブに適用する給紙方法を選択します。

■ プリントサービス設定

Raw TCP印刷、LPD印刷、IPP印刷などの印刷サービスを設定します。

注意

プリントサービス設定が変更されると、本機を自動的に再起動します。

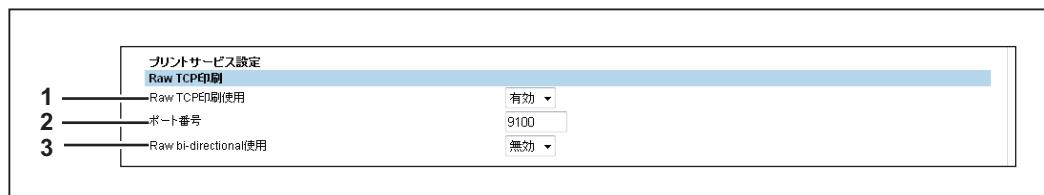
□ P.57 「Raw TCP印刷の設定」

□ P.57 「LPD印刷の設定」

□ P.58 「IPP印刷の設定」

□ Raw TCP印刷の設定

Raw TCP印刷では、Raw TCP印刷サービスを有効／無効およびRaw TCP印刷用のLPDポート番号を設定します。



項目名	機能説明
1 Raw TCP印刷使用	Raw TCP印刷サービスの有効／無効を選択します。初期値は「有効」に設定されています。
2 ポート番号	Raw TCP印刷に使用するポート番号を入力します。1024から32767までの値を入力できます。通常は、初期値の「9100」を使用します。
3 Raw bi-directional使用	Raw雙方向通信の有効／無効を選択します。初期値は「無効」に設定されています。

□ LPD印刷の設定

ユーザーにLPD印刷を許可する場合は、LPD印刷を設定しLPD印刷サービスを有効にする必要があります。



項目名	機能説明
1 LPD印刷使用	LPD印刷サービスの有効／無効を選択します。初期値は「有効」に設定されています。
2 ポート番号	LPD印刷に使用するポート番号を入力します。1から65535までの値を入力できます。通常は、初期値の「515」を使用します。

□ IPP印刷の設定

ユーザーにIPP印刷を許可する場合は、IPP印刷を設定しIPP印刷サービスを有効にする必要があります。



項目名	機能説明
1 IPP印刷使用	IPP印刷サービスの有効／無効を選択します。初期値は【有効】に設定されています。
2 ポート番号	IPP印刷に使用するポート番号を入力します。1から65535までの値を入力できます。通常は、初期値の「631」を使用します（例：https://<IPアドレス>:631/ipp.cgi）。
3 URL	IPP印刷用のURLが表示されます。IPP印刷用のURLを変更することはできません。ユーザーはプリンタードライバーでIPP印刷をセットアップする際に、このURLを印刷ポートとして設定します。

■ バージョン情報

お使いの機器のバージョン情報を表示します。



項目名	機能説明
1 プリンターメーカー	お使いの機器のメーカー名、“TOSHIBA”を表示します。
2 ファームウェアバージョン	お使いの機器のファームウェアバージョンを表示します。
3 メインROMバージョン	お使いの機器のメインROMのバージョンを表示します。

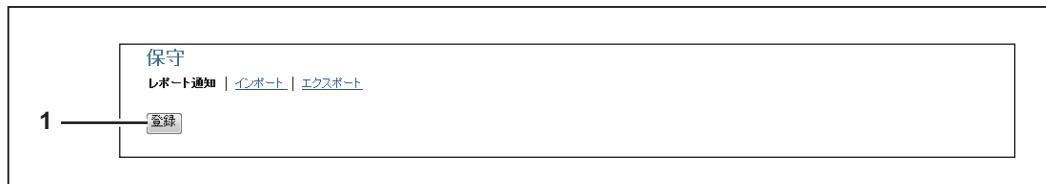
【保守】項目説明一覧

- P.59 「レポート通知」
- P.60 「インポート」
- P.63 「エクスポート」

■ レポート通知

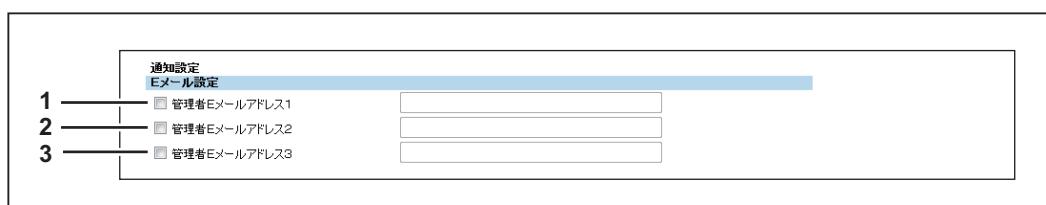
お使いの機器の情報をEメールで受信することができます。

- P.59 「Eメール設定」
- P.59 「機器通知情報イベント」
- P.60 「スキャンジョブ通知情報イベント」
- P.60 「ファクス受信転送通知情報イベント」



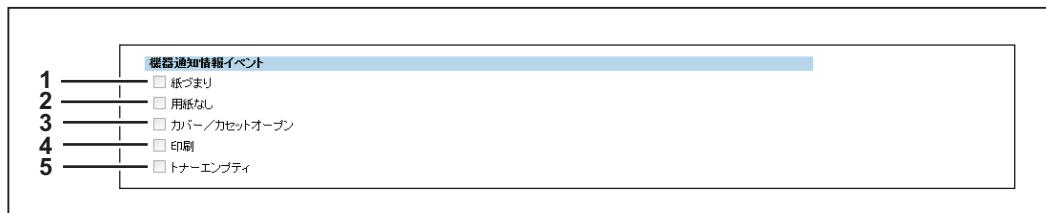
項目名	機能説明
1 [登録] ボタン	登録されたEメールアドレスにレポートを送信する設定を登録します。

□ Eメール設定



項目名	機能説明
1 管理者Eメールアドレス1	レポートを受信する管理者のEメールアドレスを登録します。半角英数字、記号と半角スペースで、192文字まで入力できます。
2 管理者Eメールアドレス2	
3 管理者Eメールアドレス3	チェックを付けた管理者にEメールでレポートが送付されます。

□ 機器通知情報イベント

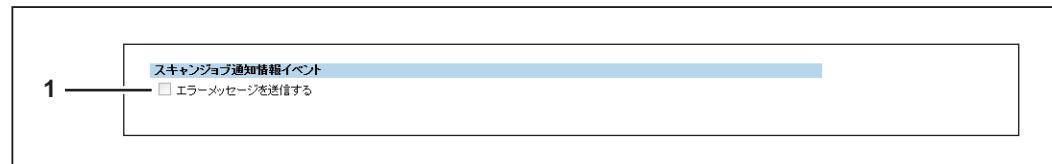


通知するイベントにチェックを付けます。

項目名	機能説明
1 紙づまり	紙づまりが発生した場合に通知します。
2 用紙なし	用紙がなくなった場合に通知します。
3 カバー／カセットオープン	カバー／カセットオープンが発生した場合に通知します。
4 印刷	「サービスマンコール」が発生した場合に通知します。

	項目名	機能説明
5	トナーエンプティ	トナーエンプティになった場合に通知します。

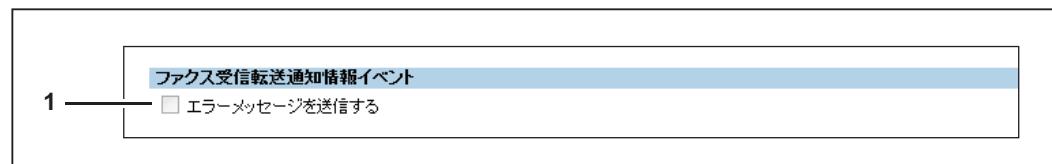
□ スキャンジョブ通知情報イベント



通知する場合は、チェックを付けます。

	項目名	機能説明
1	エラーメッセージを送信する	スキャンジョブエラーが発生した場合に通知します。

□ ファクス受信転送通知情報イベント



通知する場合は、チェックを付けます。

	項目名	機能説明
1	エラーメッセージを送信する	ファクス受信転送エラーが発生した場合に通知します。

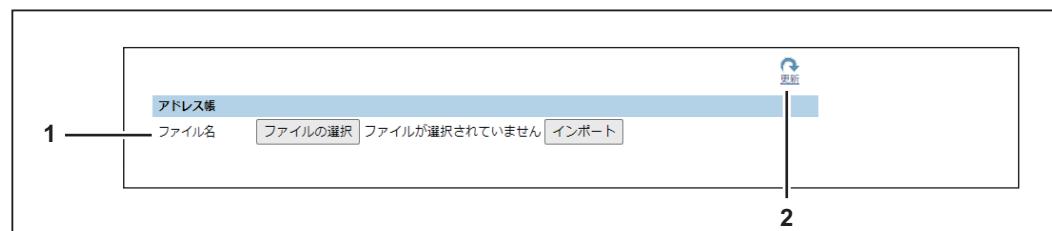
■ インポート

他の機器からエクスポートされたアドレス帳データやテンプレートなどをインポートすることができます。

注 意

データをインポートする前に、現在処理中のジョブがないことを確認してください。処理中のジョブがある場合、データをインポートすることができません。それでもデータのインポートに時間がかかる場合は、お使いの機器がスリープモードに入ってるからデータのインポートを行ってください。

□ アドレス帳



項目名	機能説明
1 ファイル名	<p>[ファイルの選択] ボタン：アドレス帳のファイルを選択します。[ファイルの選択] のボタン名称は、ブラウザーによって異なります。</p> <p>[インポート] ボタン：選択したアドレス帳のファイルをインポートします。</p>
	<p>補足</p> <p>CSV以外のファイル形式である場合、ファイル内に無効なデータがある場合、ファイル内のデータ数が制限を超えている場合はインポートできません。</p> <p>□ P.61 「CSVファイル形式」</p>
2 [更新] ボタン	ページ上の情報が更新され、表示されます。

CSVファイル形式

エクスポートしたCSVファイルを直接編集し、インポート機能を使用して登録データを更新できます。ファイルには、Dial、Type、Name、およびAddress/Group Member欄があります。

コラム名	説明
1 Dial	3種類のDialがあります。[Dial] 欄は編集または削除せず、エクスポートしたファイル内のデータを保持してください。 GRPXX ：GRPは固定の文字列です。「XX」の範囲は01から20までです。 OTDXX ：OTDは固定の文字列です。「XX」の範囲は01から05までです。 SPDXX ：SPDは固定の文字列です。「XX」の範囲は001から200までです。
2 Type	3つの種類があります。 NA ：固定の文字列です。このダイヤルは未登録です。 Fax ：固定の文字列です。このダイヤルはファクス用で、「登録」-「電話帳」で確認できます。 Email ：固定の文字列です。このダイヤルはEメール用で、「登録」-「Eメール」で確認できます。
3 Name	ダイヤル名を入力します。20文字まで入力できます。
4 Address/Group Member	<p>OTDの場合：数字と記号 (* # P) で50桁まで入力できます。Pは1桁目には使用できません。</p> <p>SPDの場合：ファクスの場合、数字と記号 (* # P) で50桁まで入力できます。Pは1桁目には使用できません。Eメールの場合、Eメールアドレスを入力します。半角英数字、記号 (+ - . @ / _) と半角スペースで64文字まで入力できます。</p> <p>GRPの場合：ダイヤル番号を入力します。ファクスの場合、XXX-OTまたはXXX-SPを入力できます。「XXX」の範囲は、XXX-OTの場合001から005までです。XXX-SPの場合001から200までです。Eメールの場合、XXX-SP0を入力できます。「XXX」の範囲は001から200までです。</p>

□ 部門コード

1

2

部門コード

インポート方式

①上書き ②追加 ③追加とカウンタクリア

ファイル名

ファイルの選択

ファイルが選択されていません [インポート]

*追加とカウンタクリアを選択してインポートを行った場合はすべての部門のカウンタがクリアされます

項目名	機能説明
1 インポート方式	インポート方式を選択します。 <u>上書き</u> ：登録済みのデータをすべて削除してインポートした情報に書き換えます。 <u>追加</u> ：登録済みのデータにインポートした情報を追加します。 <u>追加とカウンタークリア</u> ：登録済みのデータにインポートした情報を追加し、すべての部門のカウンターをクリアします。
2 ファイル名	[ファイルの選択] ボタン：部門コードのファイルを選択します。[ファイルの選択] のボタン名称は、ブラウザーによって異なります。 [インポート] ボタン：選択した部門コードのファイルをインポートします。

□ テンプレート

項目名	機能説明
1 ファイル名	[ファイルの選択] ボタン：テンプレートのファイルを選択します。 [ファイルの選択] のボタン名称は、ブラウザーによって異なります。 [インポート] ボタン：選択したテンプレートのファイルをインポートします。

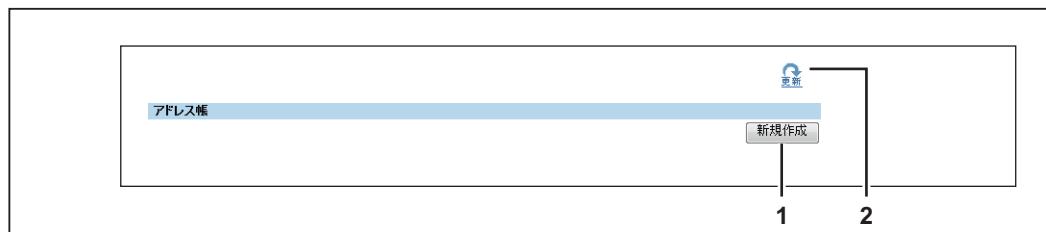
□ ヘルプ

項目名	機能説明
1 ファイル名	[ファイルの選択] ボタン：ヘルプのファイルを選択します。ヘルプに使用できるファイルは、Client Utilities/User Documentation DVDに収録されているTopAccessガイドのPDFファイルです。[ファイルの選択] のボタン名称は、ブラウザーによって異なります。 [インポート] ボタン：選択したヘルプのファイルをインポートします。
<p>注意 インポートできるPDFファイルは1つのみです。</p>	

■ エクスポート

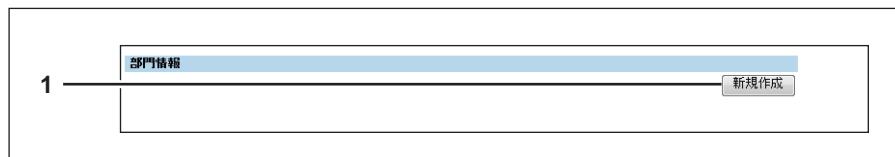
アドレス帳やテンプレートなどをエクスポートすることができます。

□ アドレス帳



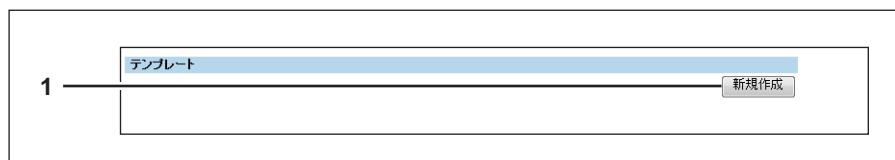
項目名	機能説明
1 [新規作成] ボタン	エクスポート用ファイルを作成します。 このボタンをクリックした後の操作は、ご使用のブラウザーによって異なります。初期設定で、ファイル名は“ADDR_YYMMDD”、ファイル形式はCSVです。
2 [更新] ボタン	ページ上の情報が更新され、表示されます。

□ 部門情報



項目名	機能説明
1 [新規作成] ボタン	部門情報のエクスポート用のファイルを作成します。 このボタンをクリックした後の操作は、ご使用のブラウザーによって異なります。初期設定で、ファイル名は“DEPT_SMALL_LARGE_COUNT_YYMMDD”、ファイル形式はCSVです。

□ テンプレート



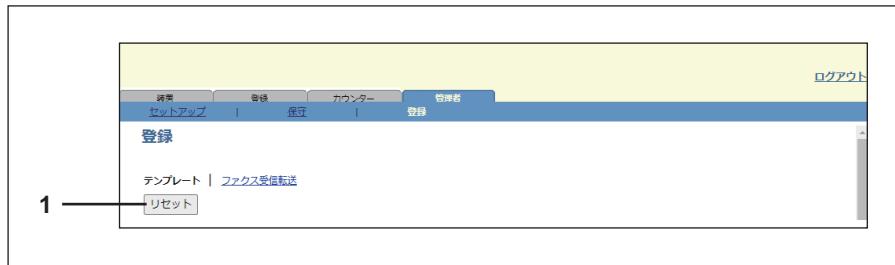
項目名	機能説明
1 [新規作成] ボタン	テンプレートのエクスポート用のファイルを作成します。 このボタンをクリックした後の操作は、ご使用のブラウザーによって異なります。初期設定で、ファイル名は“TEMPLATE_YYMMDD”、ファイル形式はCSVです。

【登録】項目説明一覧

- P.64 「テンプレート」
- P.73 「ファックス受信転送」

■ テンプレート

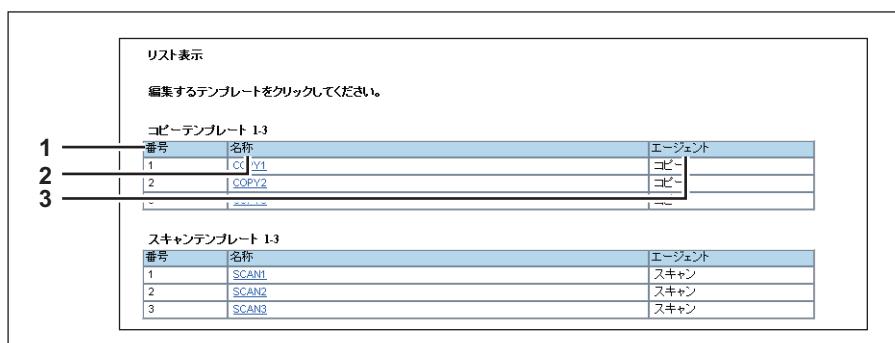
本機には、3つのコピー用テンプレートと3つのスキャン用テンプレートを登録できます。



	項目名	機能説明
1	[リセット] ボタン	すべてのテンプレートをリセットします。

□ [リスト表示] 画面

テンプレートリストを表示します。



	項目名	機能説明
1	番号	テンプレートの番号を表示します。
2	名称	テンプレートの名称を表示します。名称をクリックすると、登録・編集することができます。 □ P.64 「[テンプレート情報] 画面 (コピー)」 □ P.65 「[テンプレート情報] 画面 (スキャン)」
3	エージェント	テンプレートのエージェントを表示します。

□ [テンプレート情報] 画面 (コピー)

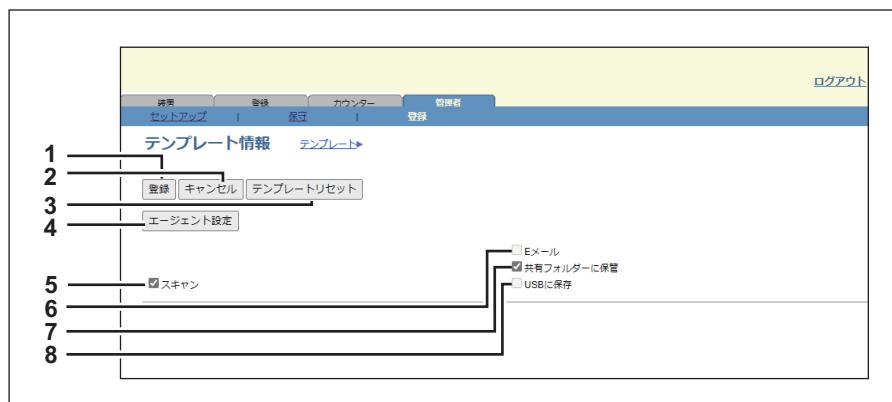
コピー用テンプレートを登録・編集します。



項目名	機能説明
1 [登録] ボタン	テンプレートの内容を登録します。
2 [キャンセル] ボタン	操作を中止します。
3 [テンプレートリセット] ボタン	テンプレートが登録されている場合に表示されます。クリックすると、定義済みのテンプレートをリセットします。

□ [テンプレート情報] 画面 (スキャン)

スキャン用テンプレートを登録・編集します。



項目名	機能説明
1 [登録] ボタン	テンプレートの内容を登録します。
2 [キャンセル] ボタン	操作を中止します。
3 [テンプレートリセット] ボタン	テンプレートが登録されている場合に表示されます。クリックすると、定義済みのテンプレートをリセットします。
4 [エージェント設定] ボタン	選択されているエージェントを設定します。新規にエージェントを設定する場合は、テンプレートの詳細を設定できます。 ☞ P.65 「テンプレートの詳細設定」
5 スキャン	スキャン用テンプレートを作成します。[Eメール]、[共有フォルダーに保管] または [USBに保存] のいずれかを選択する必要があります。
6 Eメール	Eメールに添付して送付します。
7 共有フォルダーに保管	共有フォルダーに保存します。
8 USBに保存	USBメディアに保存します。

□ テンプレートの詳細設定

テンプレートに登録する詳細を設定できます。

- ☞ P.66 「[パネル設定] 画面」
- ☞ P.66 「[宛先設定] 画面」
- ☞ P.66 「[宛先リスト] 画面」
- ☞ P.68 「[Eメール設定] 画面」
- ☞ P.70 「[共有フォルダーに保管設定] 画面」
- ☞ P.70 「[USB保存設定] 画面」
- ☞ P.71 「[スキャン設定] 画面」

【パネル設定】画面

1 [登録] ボタン
2 [キャンセル] ボタン
3 名称
4 エージェント

項目名	機能説明
1 [登録] ボタン	パネル設定の内容を登録します。
2 [キャンセル] ボタン	操作を中止します。
3 名称	本機の操作パネルに表示されるテキストを入力します。18文字まで入力できます。
4 エージェント	テンプレートに登録されているエージェントを表示します。スキャン用テンプレートが登録されている場合は「Eメール」、「共有フォルダーに保管」または「USBに保存」のいずれかを表示します。

【宛先設定】画面

Eメールを送信する宛先を指定します。

1 To: 宛先設定
2 Cc: 宛先設定

項目名	機能説明
1 To: 宛先設定	宛先を設定します。 P.66 「[宛先リスト] 画面」
2 Cc: 宛先設定	CCで送信する宛先を設定します。 P.66 「[宛先リスト] 画面」

【宛先リスト】画面

宛先は最大220件登録できます。

1 [登録] ボタン
2 [キャンセル] ボタン
3 [新規] ボタン
4
5
6

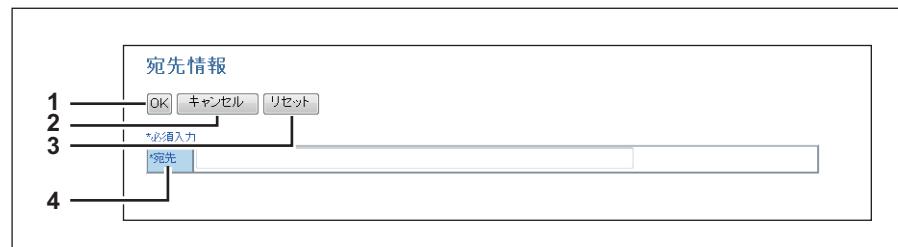
項目名	機能説明
1 [登録] ボタン	宛先リストの内容を登録します。
2 [キャンセル] ボタン	操作を中止します。
3 [新規] ボタン	Eメールアドレスを入力します。 P.67 「[宛先情報] 画面」

項目名	機能説明
4 [Eメール (個人)] ボタン	アドレス帳に登録されているEメールアドレス (個人) を宛先に使用します。 ☞ P.67 「[Eメール (個人)] 画面」
5 [Eメール (グループ)] ボタン	アドレス帳に登録されているEメールアドレス (グループ) を宛先に使用します。 ☞ P.68 「[Eメール (グループ)] 画面」
6 [削除] ボタン	削除したい宛先のチェックボックスをオンにし、クリックして宛先を削除します。

注 意

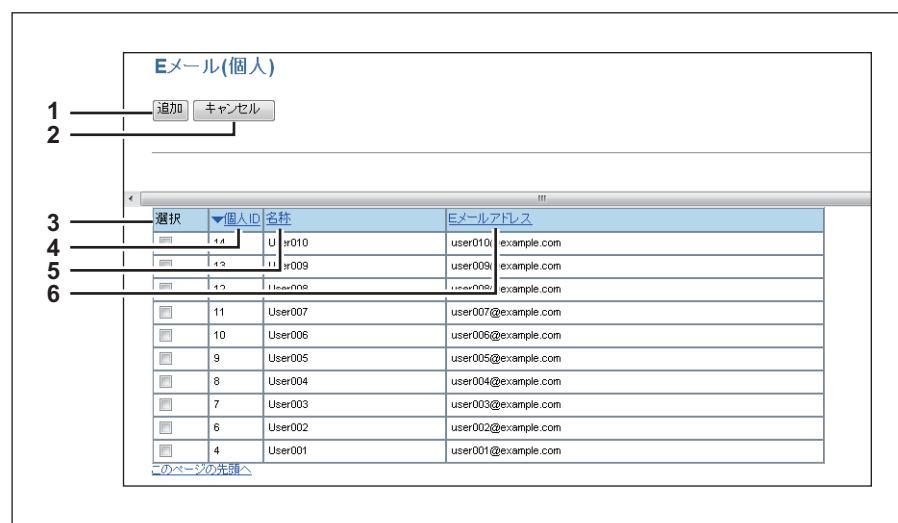
アドレス帳を変更した場合は、テンプレートの宛先設定も変更してください。

【宛先情報】画面



項目名	機能説明
1 [OK] ボタン	入力した宛先を宛先リストに追加します。
2 [キャンセル] ボタン	操作を中止します。
3 [リセット] ボタン	[宛先] ボックスに入力した情報を消去します。
4 宛先	Eメールアドレスを入力します。半角64文字まで入力できます。

【Eメール (個人)】画面



項目名	機能説明
1 [追加] ボタン	選択したEメールアドレス (個人) を宛先として登録します。
2 [キャンセル] ボタン	操作を中止します。

項目名		機能説明
3	選択	Eメールアドレスを追加するときにチェックボックスを選択します。
4	個人ID	個人IDを表示します。
5	名称	名称を表示します。
6	Eメールアドレス	登録されているEメールアドレスを表示します。

【Eメール（グループ）】画面

項目名		機能説明
1	[追加] ボタン	Eメールアドレス（グループ）を宛先として登録します。
2	[キャンセル] ボタン	操作を中止します。
3	選択	Eメールアドレス（グループ）を追加するときにチェックボックスを選択します。
4	グループ番号	グループ番号を表示します。
5	グループ名称	グループ名称を表示します。
6	アドレス帳	グループに登録されているアドレス帳の件数を表示します。

【Eメール設定】画面

送信されるEメール送信文書のプロパティを設定します。

項目名	機能説明
1 [登録] ボタン	Eメール設定の内容を登録します。
2 [キャンセル] ボタン	操作を中止します。
3 件名	Eメールの件名を設定します。 (マシン名称) からのスキャンYYYY/MM/DD hh:mm : (マシン名称) からのスキャンYYYY/MM/DD hh:mmを件名にします。 (マシン名称) からの送信データ [(テンプレート名称)] : (マシン名称) からの送信データ [(テンプレート名称)] を件名にします。 <入力ボックス> : 入力されたテキストを件名にします。64文字まで入力できます。
4 送信者アドレス	送信者のEメールアドレスとして適用するEメールアドレスを設定します。テンプレートを使って本機が送信した文書に対して相手先が返信する場合は、ここで設定するEメールアドレスに返信されます。 管理者が設定した送信者アドレスを使う : [管理者] - [セットアップ] - [Eメール設定] で設定した送信者アドレスを使用します。 <入力ボックス> : 送信者アドレスを設定します。半角英数字、記号と半角スペースで、192文字まで入力できます。
5 送信者名	Eメール文書に適用する送信者の名前を入力します。 管理者が設定した送信者名を使う : [管理者] - [セットアップ] - [Eメール設定] で設定した送信者名を使用します。 <入力ボックス> : 送信者名を設定します。64文字まで入力できます。
6 本文	Eメール文書に初期設定として適用する本文を入力します。1000文字まで入力できます。
7 ファイル形式	スキャンイメージのファイル形式を選択します。 <ul style="list-style-type: none">PDF (マルチ) : スキャンイメージを複数ページのPDFファイルとして保存します。PDF (シングル) : スキャンイメージを、1ページ1ファイルのPDFファイルとして保存します。TIFF (マルチ) : スキャンイメージを複数ページのTIFFファイルとして保存します。TIFF (シングル) : スキャンイメージを、1ページ1ファイルのTIFFファイルとして保存します。
8 ファイル名	初期設定として使用されるファイル名を入力します。デフォルト設定の [DocYYMMDD] を選択するか、目的のファイル名をボックスに入力します。
9 分割送信サイズ	メッセージの分割サイズを選択します。

【共有フォルダーに保管設定】画面

スキャンファイルの保存方法および保存先を設定します。

項目名	機能説明
1 [登録] ボタン	共有フォルダーに保管設定の内容を登録します。
2 [キャンセル] ボタン	操作を中止します。
3 ファイル形式	スキャンイメージのファイル形式を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• PDF (マルチ) : スキャンイメージを複数ページのPDFファイルとして保存します。• PDF (シングル) : スキャンイメージを、1ページ1ファイルのPDFファイルとして保存します。• TIFF (マルチ) : スキャンイメージを複数ページのTIFFファイルとして保存します。• TIFF (シングル) : スキャンイメージを、1ページ1ファイルのTIFFファイルとして保存します。
4 宛先	スキャンファイルをネットワークフォルダーに保存する場合にオンにします。ネットワークフォルダーは [リモート1] または [リモート2] のいずれか1つを選択できます。[管理者] - [セットアップ] - [共有フォルダーに保管設定] の設定が使用されます。
5 ファイル名	初期設定として使用されるファイル名を入力します。デフォルト設定の [DocYYMMDD] を選択するか、目的のファイル名をボックスに入力します。

【USB保存設定】画面

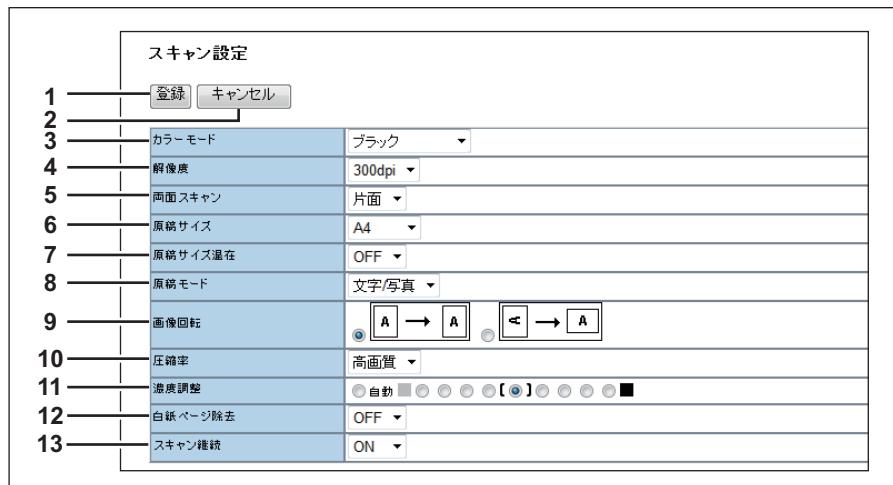
USBメディアに保存する方法を設定します。

項目名	機能説明
1 [登録] ボタン	USB保存設定の内容を登録します。
2 [キャンセル] ボタン	操作を中止します。

項目名		機能説明
3	ファイル形式	スキャンイメージのファイル形式を選択します。 • PDF (マルチ) ：スキャンイメージを複数ページのPDFファイルとして保存します。 • PDF (シングル) ：スキャンイメージを、1ページ1ファイルのPDFファイルとして保存します。 • TIFF (マルチ) ：スキャンイメージを複数ページのTIFFファイルとして保存します。 • TIFF (シングル) ：スキャンイメージを、1ページ1ファイルのTIFFファイルとして保存します。
4	ファイル名	初期設定として使用されるファイル名を入力します。デフォルト設定の[DocYYMMDD]を選択するか、目的のファイル名をボックスに入力します。

【スキャン設定】画面

スキャンエージェントを選択した場合に、どのように原稿をスキャンするかを設定します。



項目名		機能説明
1	[登録] ボタン	スキャン設定の内容を登録します。
2	[キャンセル] ボタン	操作を中止します。
3	カラー モード	スキャンのカラー モードを選択します。 • ブラック ：モノクロでスキャンします。 • グレースケール ：グレースケールでスキャンします。 • フルカラー ：フルカラーでスキャンします。
4	解像度	スキャンの解像度を選択します。
注意		カラー モードで [フルカラー] を選択し、解像度で [600dpi] を選択した場合、原稿サイズは [A5-R] または [ST-R] のみ使用できます。
5	両面スキャン	原稿の片面をスキャンするか、両面をスキャンするかを選択します。自動両面原稿送り装置が装着されている場合のみ、使用できます。 • 片面 ：原稿の片面をスキャンします。 • 両面 ：原稿の両面をスキャンします。

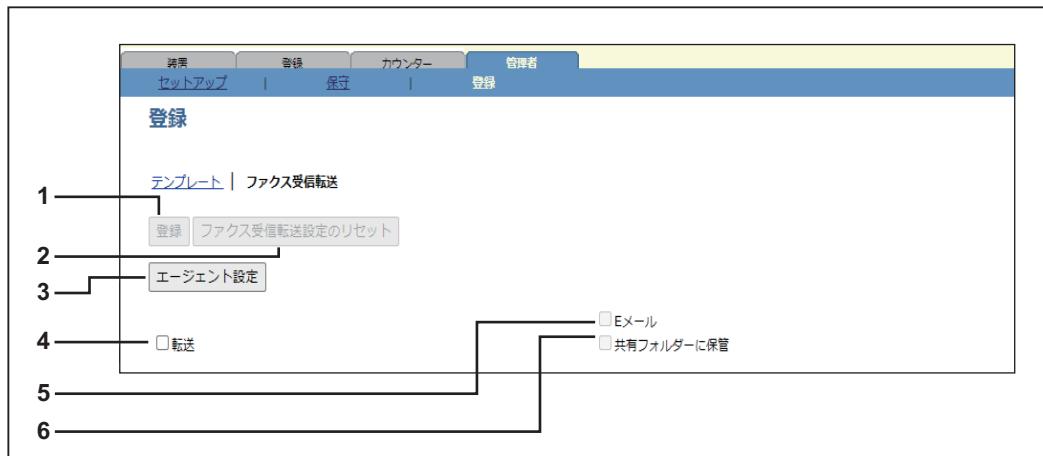
	項目名	機能説明
6	原稿サイズ	原稿サイズを選択します。
	注 意	カラー モードで [フルカラー] を選択し、解像度で [600dpi] を選択した場合、原稿サイズは [A5-R] または [ST-R] のみ使用できます。
7	原稿サイズ混在	サイズの異なる用紙が混在する原稿をスキャンかどうか選択します。原稿サイズで [自動] を選択した場合のみ設定できます。
8	原稿モード	原稿の種類を選択します。 • <u>文字／写真</u> ：原稿モードに文字／写真モードを使用します。 • <u>文字</u> ：原稿モードに文字モードを使用します。 • <u>写真</u> ：原稿モードに写真モードを使用します。
	注 意	カラー モードで [グレースケール] を選択した場合は設定できません。
9	画像回転	スキャンイメージをどのように回転させるかを選択します。
10	圧縮率	スキャンデータの圧縮率を選択します。
11	濃度調整	スキャンの濃度を選択します。 [自動] を選択すると、原稿に応じた理想的なコントラストを自動的に適用します。手動で濃度を調節する場合は、9段階に調節することができます。選択値を右側に設定するほど、画像全体の濃度が濃くなります。
	注 意	カラー モードで [グレースケール] を選択した場合は設定できません。
12	白紙ページ除去	原稿に白紙ページが含まれていた場合、スキャン結果から白紙ページを自動的に省くかを選択します。 • <u>OFF</u> ：白紙ページを含めます。 • <u>ON</u> ：白紙ページを省きます。
	注 意	カラー モードで [フルカラー] または [グレースケール] を選択した場合は設定できません。
13	スキャン継続	自動両面原稿送り装置にセットした原稿をすべてスキャンした後に、自動的にスキャンを終了するかどうか設定します。 • <u>OFF</u> ：自動両面原稿送り装置にセットした原稿をすべてスキャンした後に、自動的にスキャンを終了します。 • <u>ON</u> ：自動両面原稿送り装置にセットした原稿をすべてスキャンした後にスキャンを継続する場合に選択します。

■ ファクス受信転送

ファクス受信転送機能を指定できます。

注 意

- ・[ファクス受信転送] は、ファクス機能を搭載した機体のみ有効です。
- ・ファクス受信転送する場合は、JBIGで符号化されたファクスは受信できません。他の方式で符号化されて受信するためJBIGで受信した場合と比べて遅くなります。



項目名	機能説明
1 [登録] ボタン	ファクス受信転送設定を保存します。
2 [ファクス受信転送設定のリセット] ボタン	設定済みのファクス受信転送設定をすべて削除します。
3 [エージェント設定] ボタン	転送にチェックを入れ、使用するエージェントを「Eメール」または「共有フォルダーに保管」から選んでチェックを入れてから、このボタンを押すと、詳細設定画面が表示されます。
4 [転送]	ファクス受信転送する場合にチェックを入れます。チェックを入れた後で、「Eメール」または「共有フォルダーに保管」からエージェントを選びます。
5 [Eメール]	エージェントの1つです。受信したファクス画像を、設定したメールアドレスに画像ファイルとしてメールに添付して送信します。
6 [共有フォルダーに保管]	エージェントの1つです。受信したファクス画像を、指定したネットワークフォルダーに保存します。

□ [Eメール] 画面

エージェントに「Eメール」を選択した場合に必要な設定です。

項目名	機能説明
1 原稿印刷	<ul style="list-style-type: none">• 常時印刷：転送する受信原稿を常に印刷します。• エラー時ののみ印刷：転送に失敗したときだけ受信原稿を印刷します。
2 [To:宛先設定] ボタン	宛先を設定します。
3 To:宛先	転送先のメールアドレスを表示します。
4 [Cc:宛先設定] ボタン	Ccで送信する宛先を設定します。
5 Cc:宛先	転送先のメールアドレスを表示します。
6 [Eメール設定] ボタン	メール設定画面を開きます。 P.68 「[Eメール設定] 画面」
7 件名	メールの件名を表示します。最大60文字まで表示されます。
8 送信者アドレス	メールの送信者のメールアドレスを表示します。最大60文字まで表示されます。
9 送信者名	メールの送信者名を表示します。最大60文字まで表示されます。
10 本文	メール本文を表示します。最大60文字まで表示されます。
11 ファイル形式	ファイル形式を表示します。
12 ファイル名	ファイル名を表示します。
13 分割送信サイズ	メッセージの分割サイズを表示します。

□ [Eメール設定] 画面

転送するEメール文書のプロパティを設定します。
エージェントに [Eメール] を選択した場合に設定します。

Eメール設定

登録 キャンセル

*必須入力

1 件名	(装置名)から受信 DD/MM/YY 時間 <input checked="" type="radio"/> (装置名)から受信 DD/MM/YY 時間 <input type="radio"/> (日付)
2 送信者アドレス	
3 送信者名	
4 本文	
5 ファイル形式	PDF(Multi) <input type="button" value="…"/>
6 ファイル名	(送信者)-NNN(NNNは連続する数字)
7 分割送信サイズ	分割無 <input type="button" value="…"/>

項目名	機能説明
1 件名	メールの件名を設定します。デフォルト設定の「(装置名) から受信DD/MM/YY 時間」を選択するか、任意の件名をボックスに入力します。任意の件名の末尾には自動的に日付が追加されます。
2 送信者アドレス	メールの送信者のメールアドレスを設定します。
3 送信者名	メールの送信者名を設定します。
4 本文	メール本文を設定します。スペースを含め1000文字まで入力できます。
5 ファイル形式	ファイル形式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> PDF (マルチ) : 受信したファクスを、複数ページのPDFファイルとして保存します。 PDF (シングル) : 受信したファクスを、1ページ1ファイルのPDFファイルとして保存します。 TIFF (マルチ) : 受信したファクスを、複数ページのTIFFファイルとして保存します。 TIFF (シングル) : 受信したファクスを、1ページ1ファイルのTIFFファイルとして保存します。
6 ファイル名	ファイル名は固定です。「NNN」には連続する番号が振られます。
7 分割送信サイズ	メッセージの分割サイズを選択します。

□ [共有フォルダーに保管] 画面

エージェントに「共有フォルダーに保管」を選択した場合に必要な設定です。



1 原稿印刷

2 [共有フォルダーに保管設定]

3 ファイル形式

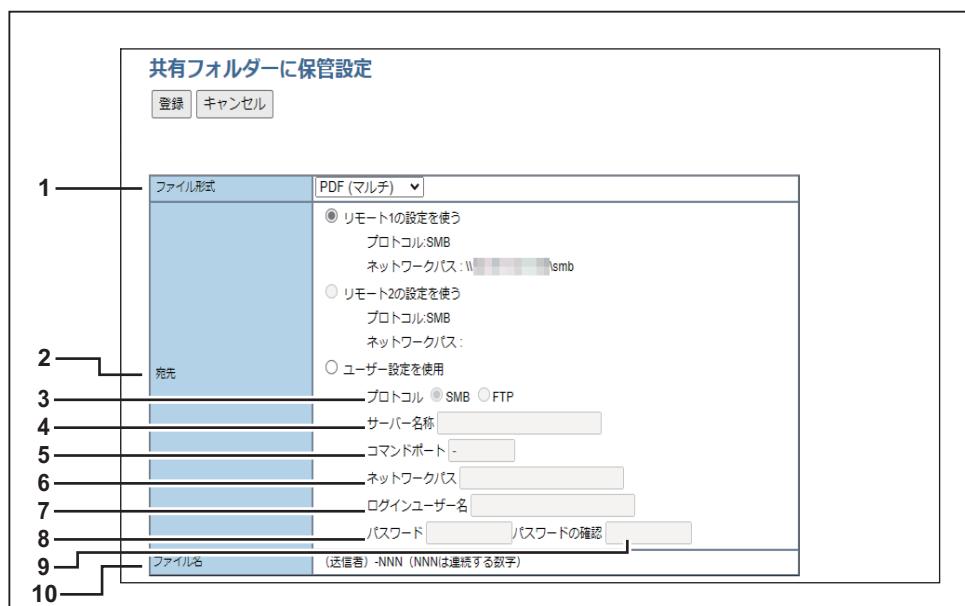
4宛先

5 ファイル名

項目名	機能説明
1 原稿印刷	• 常時印刷 ：転送する受信原稿を常に印刷します。 • エラー時のみ印刷 ：転送に失敗したときだけ受信原稿を印刷します。
2 [共有フォルダーに保管設定] ボタン	共有フォルダーに保管設定画面を開きます。 P.70 「[共有フォルダーに保管設定] 画面」
3 ファイル形式	ファイル形式を表示します。
4 宛先	ファイルの保存先を表示します。最大60文字まで表示されます。
5 ファイル名	ファイル名を表示します。

□ [共有フォルダーに保管設定] 画面

保管するファイルのプロパティを設定します。



1 ファイル形式

2 宛先

3 プロトコル

4 サーバー名

5 コマンドポート

6 ネットワークパス

7 ログインユーザー名

8 パスワード

9 ファイル名

10 (送信者)-NNN (NNNは連続する数字)

項目名	機能説明
1 ファイル形式	<p>ファイル形式を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PDF (マルチ) : 受信したファクスを、複数ページのPDFファイルとして保存します。 • PDF (シングル) : 受信したファクスを、1ページ1ファイルのPDFファイルとして保存します。 • TIFF (マルチ) : 受信したファクスを、複数ページのTIFFファイルとして保存します。 • TIFF (シングル) : 受信したファクスを、1ページ1ファイルのTIFFファイルとして保存します。
2 宛先	<p>ファクス画像ファイルの保存先を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • リモート1の設定を使う : 「管理者」タブの「セットアップ」の「共有フォルダーに保管設定」でリモート1として設定している保存先にファイルを保存します。 • リモート2の設定を使う : 「管理者」タブの「セットアップ」の「共有フォルダーに保管設定」でリモート2として設定している保存先にファイルを保存します。 • ユーザー設定を使用 : 任意のネットワークフォルダーにファイルを保存します。
3 プロトコル	<p>ファクス画像ファイルをネットワークフォルダーに転送するときに使用するプロトコルを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SMB : SMBプロトコルを使用してファクス画像ファイルをネットワークフォルダーに転送します。 • FTP : ファクス画像ファイルをFTPサーバーに転送します。
4 サーバー名称	<p>プロトコルにFTPを選択した場合は、ファクス画像ファイルを転送するFTPサーバー名またはIPアドレスを入力します。たとえば、ファクス画像ファイルをFTPサーバーの「<code>ftp://192.168.1.1/user/fax</code>」というFTPフォルダーに転送する場合は、このボックスに「192.168.1.1」と入力します。</p> <p>半角英数字と記号 (- / _ : %) で、64文字まで入力できます。</p>
5 コマンドポート	<p>プロトコルにFTPを選択した場合に、コマンド実行に使用するポート番号を入力します。通常は、初期状態で入力された「-」のままにします。「-」にした場合は、ネットワークの設定ページの [FTPクライアント] で設定したポート番号（初期値）が適用されます。初期設定のポート番号とは別のポート番号を指定したい場合のみこの値を変更します。</p> <p>数字と「-」(ハイフン)を使用して、1から65535までの値を入力できます。初期値は「-」に設定されています。</p>
6 ネットワークパス	<p>プロトコルにSMBを選択した場合は、ネットワークフォルダーへのネットワークパスを入力します。たとえば、SMBサーバー名が「Client01」というコンピューターの「<code>users\$fax</code>」というフォルダーを指定する場合は、「<code>¥¥Client01¥users¥fax</code>」と入力します。</p> <p>プロトコルにFTPを選択した場合は、指定したFTPサーバーのディレクトリを入力します。たとえば、FTPサーバーの「<code>ftp://192.168.1.1/user/fax</code>」というフォルダーを指定する場合は、「<code>user/fax</code>」と入力します。</p> <p>半角英数字と記号 (* ; < > ? [¥] を除く) 、半角スペースを含み128文字まで入力できます。</p>
7 ログインユーザー名	<p>必要に応じて、SMBサーバーまたはFTPサーバーにアクセスするためのログインユーザー名を入力します。プロトコルにFTPを選択した場合、このボックスを空欄にすると、匿名でのログインと判断されます。</p> <p>半角英数字と記号 (, : ; < > [¥] を除く) で32文字まで入力できます。</p>

	項目名	機能説明
8	パスワード	必要に応じて、SMBサーバーまたはFTPサーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。半角英数字と記号で32文字まで入力できます。
9	パスワードの確認	確認のためにパスワードを再入力します。
10	ファイル名	ファイル名は固定です。「NNN」には連続する番号が振られます。

索引

C	
CSVファイル形式	61
D	
DNSの設定	42
E	
Eメール	17, 74
Eメール（グループ）	68
Eメール（個人）	67
Eメール設定	54, 59, 68, 75
F	
FTPクライアントの設定	46
H	
HTTPの設定	43
I	
IPv6の設定	40
L	
LLTDの設定	48
IPP印刷の設定	58
LPD印刷の設定	57
P	
POP3の設定	45
R	
Raw TCP印刷の設定	57
Raw印刷ジョブ印刷初期値設定	56
S	
SMBの設定	43
SMTPクライアントの設定	44
SNMPの設定	46
T	
TCP/IPの設定	36
TopAccessの画面説明	11
TopAccessの機能	8
TopAccessの条件	9
TopAccessを起動する	10
U	
USB保存設定	70
W	
WEB設定	33
WSDの設定	55
あ	
宛先情報	67
宛先設定	66
宛先リスト	66
アドレス帳	60, 63
アドレス帳操作制限	34
アドレスを入力して起動する	10
い	
一般設定	31, 55
インポート	60
え	
エクスポート	63
か	
管理者／作業者によるアドレス帳操作制限	34
き	
機器通知情報イベント	59
機密化設定	34
共有フォルダーに保管	76
共有フォルダーに保管設定	53, 70, 76
く	
グループ	18, 21
グループ情報	19, 24
こ	
個人のプロパティ	18
個人用	17
コピー設定	50
さ	
サポートブラウザー	9
す	
スキャンカウンター	28
スキャンジョブ通知情報イベント	60
スキャン設定	71
スリープモードからの復帰設定	48
せ	
節電モード設定	32
セットアップ 項目説明一覧	31
そ	
装置 項目説明一覧	14
装置情報	31
た	
短縮ダイヤル	20
短縮ダイヤルのプロパティ	22
て	
テンプレート	62, 63, 64
テンプレート情報	64, 65
テンプレートの詳細設定	65
電話帳	20
電話帳 項目説明一覧	20
と	
トータルカウンター	28
登録 項目説明一覧	64
ね	
ネットワーク設定	35
は	
バージョン情報	58
パネル設定	66
ひ	
日付と時間	33

ふ

ファクス受信転送	73
ファクス受信転送通知情報イベント	60
ファクス設定	51
フィルタリングの設定	38
部門管理	25
部門管理 項目説明一覧	25
部門管理設定	33
部門コード	61
部門情報	25, 63
部門情報（編集）	26
プリンター設定	55
プリントカウンター	28
プリントサービス設定	57

へ

ヘルプ	62
-----	----

ほ

保守 項目説明一覧	59
-----------	----

り

リスト表示	64
リモート1とリモート2の設定	53

れ

レポート通知	59
--------	----

ろ

ログイン	
[管理者] タブ	30
[登録] タブ	16

わ

ワンタッチ	21
ワンタッチ番号のプロパティ	23

DP-2329A
OMJ180021B0

東芝デジタル複合機

TopAccessガイド

e-STUDIO2329A

東芝テック株式会社

